

芹ヶ谷公園"芸術の杜"プロジェクト

CONCEPT BOOK (案)



目次

§ 1_プロジェクトの背景と芹ヶ谷公園の現状

プロジェクトの背景について	・・・3
芹ヶ谷公園"芸術の杜"のビジョン	・・・5
芹ヶ谷公園の現況 1	・・・7
芹ヶ谷公園の現況 2	・・・9
芹ヶ谷公園の現況 3	・・・11
芹ヶ谷公園の価値と資源について	・・・13

§ 2_芹ヶ谷公園"芸術の杜"のコンセプト

芹ヶ谷公園"芸術の杜"のコンセプト	・・・17
イメージビジュアル	・・・19
芹ヶ谷公園のゾーニング	・・・21
ステージについて	・・・23
市民参加型の公園活用実験プロジェクト	・・・25
ランドスケープ整備のキーワード	・・・27
緑の整備方針	・・・29
美術館と芹ヶ谷公園の一体的整備について	・・・31
(仮称)国際工芸美術館整備の考え方	・・・32

§ 3_公園活用アイデア集

公園活用アイデア抽出のプロセス 1：町田を面白がる会	・・・35
町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の未来を考える編の成果一覧	・・・37
公園の未来を面白がる会の成果一覧	・・・39
町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の 新たな使い方を考える編の成果一覧	・・・41
公園活用アイデア抽出のプロセス 2： 市内の学校・学生との連携	・・・43
公園活用アイデア抽出のプロセス 3：アンケート	・・・45
アンケートのデータまとめ	・・・47
公園活用アイデア集 1	・・・49
公園活用アイデア集 2	・・・51
公園活用アイデア集 3	・・・53
公園活用アイデア集 4	・・・55
公園活用アイデア集 5	・・・57
公園活用アイデア集 6	・・・61

§ 4_持続可能な運営体制の検討と実現にむけたロードマップ

官民連携/民間活力導入の検討の背景	・・・63
Park-PFI制度について	・・・65
実現に向けたロードマップ	・・・67

§ 1
プロジェクトの背景と芹ヶ谷公園の現状

▶プロジェクトの背景

全国的に高齢化や少子化が進み多くの自治体が人口減少に直面しています。町田市においても、既に生産年齢人口は減り始めており、今後の町田市の発展にとって特に若年層・子育て世代に選ばれるということは非常に重要です。これからも町田市が選ばれ、愛着を持って住み続けていただけるまちであるためには、子育て世代を支える制度や取組の充実だけに留まらず、さまざまな体験を通して子どもたちが地域と共に学び、楽しみ、成長することができる豊かな環境を作り出すことが重要だと考えています。

また、多摩都市モノレールの延伸事業という町田市のポテンシャル向上につながる大きな変化も始まっています。そこで、この変化の機を捉え、町田駅周辺の貴重な資源のひとつである「芹ヶ谷公園」のさらなる魅力向上を図ることで、新たな賑わいや交流、経済的な価値だけではなく、測れない潤いや豊かさを生み出し、町田市全体のブランド価値の向上を目指します。

▶芹ヶ谷公園"芸術の杜"

芹ヶ谷公園は、町田駅から徒歩10分程度で訪れることができる自然豊かな公園であり、多くの市民の憩いの空間です。また、芹ヶ谷公園には、全国的にも珍しい版画を専門とした町田市立国際版画美術館がある他、自然あふれる空間に彫刻噴水・シーソー等の美術作品も点在しています。現在は、「町田さくらまつり」や「町田時代祭り」「ゆうゆう版画美術館まつり」などのイベントに市内外から多くの来街者が訪れ、多様な文化芸術を感じることができます。さらに、本町田にある町田市立博物館の老朽化に伴い、芹ヶ谷公園内に(仮称)国際工芸美術館の建設も予定しています。

2016年3月に策定した「芹ヶ谷公園再整備基本計画」では、再整備テーマを「まちなかで人と緑が会いふれあう芸術の杜」と定め、魅力あるまちづくりの一環として、芹ヶ谷公園の第一期整備に取り組んでいるところです。

▶(仮称)国際工芸美術館の整備

施設の老朽化によって町田市立博物館は2019年6月に展示事業を終了しました。その収蔵品を引き継ぐ施設として、芹ヶ谷公園に新たに建設を予定している(仮称)国際工芸美術館は、博物館が所蔵している美術品のうち、国内でも秀でた貴重なコレクションとして特に高い評価を受けている「ガラス」と「陶磁器」に絞った美術館とします。

テーマを「ガラス」と「陶磁器」に絞ることにより、全国的にも貴重な特徴ある美術館となります。その一方で、新しい美術館は特定の層だけの関心や興味を満たすものではなく、親しみやすさや楽しさをキーワードに、多くの人に新たなアートとの出会いやふれあいを提供する場とすべきだと考えています。

▶公園と美術館の一体的な整備

芹ヶ谷公園の第二期整備と(仮称)国際工芸美術館の整備にあたっては、公園と美術館をそれぞれ単体として捉えるのではなく、「芸術の杜」という大きなテーマの中で公園と美術館の一体的な整備を行うことで、公園という市民に開かれた身近な空間が多様なアートに親しみ入り口となることを目指します。

例えば、美術館での美術品の鑑賞に留まらず、芹ヶ谷公園の空間と一体となった参加型のアートプログラムなどが公園の様々な場所で展開されるなど、芹ヶ谷公園の豊かな自然を感じながら多様なアート活動に五感を通じて触れられる体験を提供することで"ここならではの"価値の創出を目指します。

▶ひらかれたプロセスと持続可能性の実現にむけて

これらの新しい公園のあり方を考えるにあたっては、多くの方々の意見を聞き町田市としての考えや思いを丁寧に伝えていくことはもちろんですが、同時に芹ヶ谷公園の将来やあり方を自分事として捉え、一緒に考え、共に創造していく人たちを増やしていくことが重要だと考えています。多様な立場や様々な視点からの声を取り入れていくことで、より多くの人にとって魅力的な芹ヶ谷公園をつくりだすことを目指します。

また、さらなる高齢化や少子化など、これまでと異なる社会状況においても、芹ヶ谷公園が継続的に発展していくためには、町田市と共働して事業推進していくことができる先進性と実現性を持ったパートナーを見つけていくことも重要と考えます。それにあたっての事業形態の検討を進めるとともに、民間事業者へのヒアリングなどにも取り組んでいきます。

▶ 芹ヶ谷公園"芸術の杜"のビジョン

地域の人にとっての憩いの公園であり、市内外から多くの人が訪れる町田市の顔のひとつとなるような"わざわざ訪れたくなる"、"何度でも訪れたくなる"多彩な魅力に溢れている、町田を訪れる目的となりえる場。

芹ヶ谷公園は既に多くの市民に愛され親しまれている公園ですが、まだまだその価値や可能性をこれまで以上に大きく広げられる場所であり、これからの町田市にとって重要な場所のひとつです。そこで文化芸術という視点から公園の魅力向上に取り組んでいくことで、経済的な活動だけでは出会うことのない新たな出会いや交流を生み出し、文化芸術の持つ多様な活動を受け止められる懐の深さや町田の人々の暮らしや営みの中にある豊かさを体現できる"ここならではの"場所としていきます。そのために、多くの方々と共に今ある資源を磨き活かしながら文化芸術に対する機運を高めていくことで、"芸術の杜"としての芹ヶ谷公園の価値や意義を高めていくことができると考えています。

緑あふれる公園に、アートという多様かつ魅力的な人々をつなぐ力のある要素が加わることで、これまで以上に芹ヶ谷公園という場が、新たな町田のイメージのひとつをつくるような魅力ある場所となることを目指します。

町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園の空間や公園内施設、まちなかと一体となって展開されている。

(仮称)国際工芸美術館や国際版画美術館をはじめとする公園内の施設も含めて公園全体が芸術体験のフィールドとなり、市民の活動の拠点となっていくことを目指します。そのために地域性豊かでかつ多様性に富んだ文化プログラムを、市民の方をはじめとした多様な主体と共に展開していきます。この公園全体で展開される様々な体験やプログラムがまちなかへと繋がっていくことで、中心市街地全体に新しい出会いや交流を創出していきます。

また、中心市街地のまちづくりという視点から市民文学館や市立中央図書館、シバヒロ、商店街や駅前大型店舗などのまちなかの施設との連携を図ることはもちろん、例えば公園を含めた中心市街地全体をエリアとした参加型・回遊型のイベントなどを通じた、駅前から芹ヶ谷公園まで歩きたくないようなまちづくり、空間づくりに取り組みます。

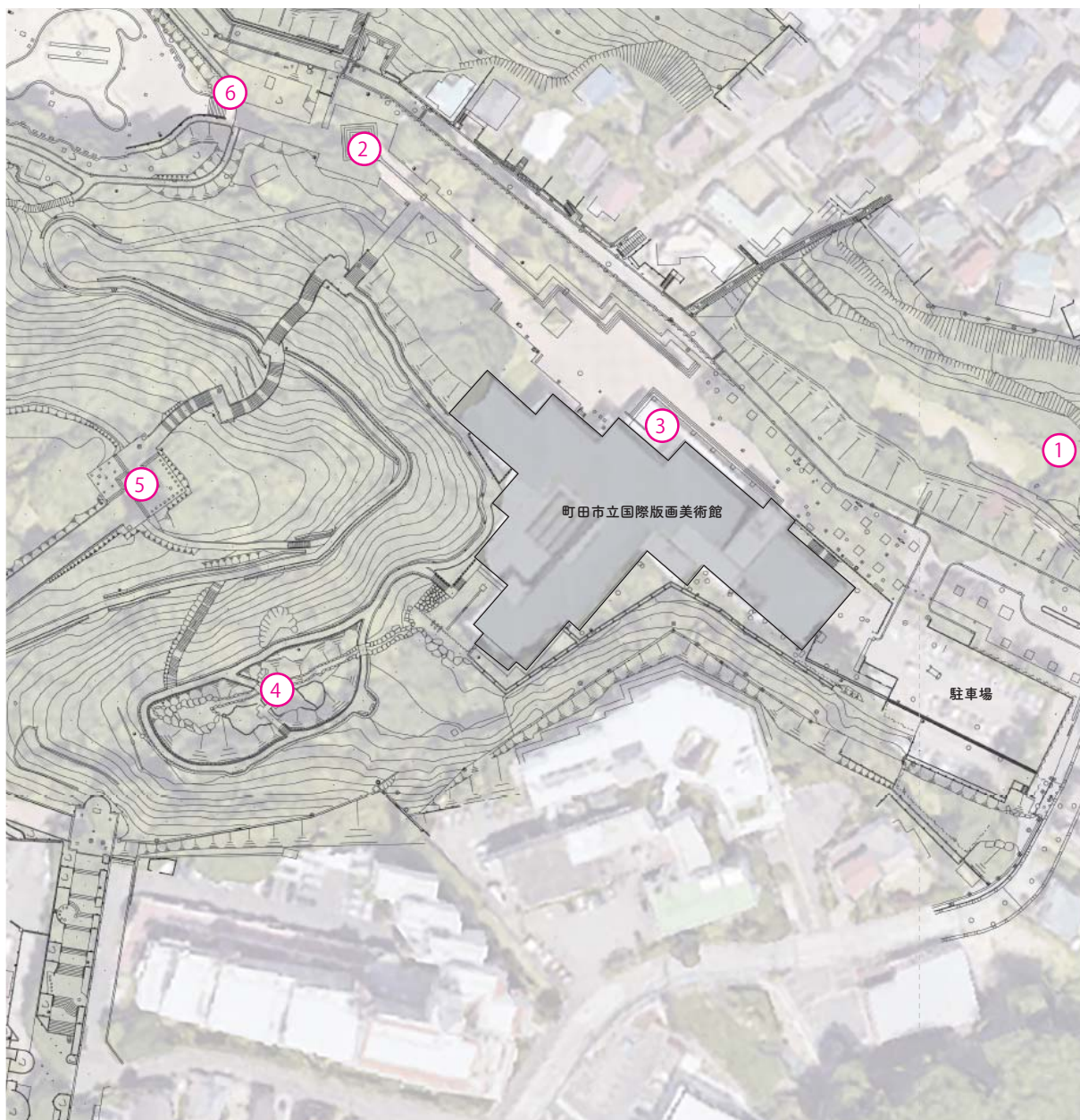
まちなかと公園が一体となり賑わいを創出していくことで、より多くの来街者が訪れるまちづくりを進めていきたいと考えています。

行政だけでなく多様な主体の参画による高付加価値化、広がりが生まれている。

公園という場所は多様な活動のプラットフォームとなりえる空間です。そこで、芹ヶ谷公園という公共空間における新しい空間づくり、仕組みづくり、そして中心市街地のまちづくりを進める上で、"子どもと体験"という視点や、"新たな価値や賑わいを生み町田市の魅力を市内外に発信する"という視点、さらに"芹ヶ谷公園と中心市街地とのつながり"という視点など、広く、多角的な視点を持ちながら芹ヶ谷公園の魅力を向上させていくことを検討していきます。

また、より多くの方に芹ヶ谷公園に訪れていただき楽しんでいただくという視点から、民間との連携を念頭に芹ヶ谷公園の魅力発信や多様なコンテンツの導入や魅力あるプログラムの企画、そして公園そのものをはじめ、(仮称)国際工芸美術館やその他各施設の運営・維持管理等も含めて、芹ヶ谷公園全体のサービスの質を向上させるようなマネジメントのあり方についても検討を進めていきます。

▶ 町田市立国際版画美術館周辺



① 町田荘跡地

樹木に囲われ広々とした平地で公園の賑わいからも隔離されており、新しい公園活用の取り組みを行うことができるポテンシャルがあります。一方で、出入口の整備や版画美術館との繋がりなど体系的な活用においては課題があります。



② せせらぎ周辺

水が流れる“せせらぎ”の周辺には、夏場になると多くの子どもたちが集まります。老朽化した舗装の修繕や憩いのための設備を整備することで、より快適な水辺空間が生まれると考えられます。



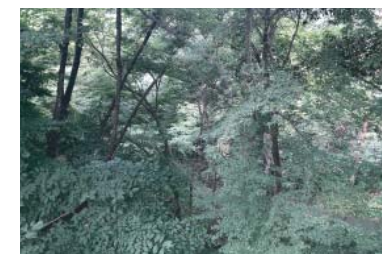
③ 町田市立国際版画美術館

芹ヶ谷公園の顔とも言える町田市立国際版画美術館。市民に愛されていますが、開館から30年以上が経ち施設の経年劣化なども見られます。



④ もみじ園

窪地で独特の囲われ感があり、水と緑にも恵まれた環境ですが、現在は成長した樹木で鬱蒼としており、高低差などもありアクセスもしづらい状況となっています。



⑤ 中央口へのアプローチ

町田駅方面からの重要な動線のひとつで、シンボルとなる彫刻もあります。しかしサインの不足等もあり園路がわかりづらく、初めて訪れる人にとっては分かりづらい空間となっています。



⑥ 彫刻噴水・シーソーへのアプローチ

国際版画美術館から彫刻噴水・シーソーへ向かうアプローチは芹ヶ谷公園の“ヘソ”として多くの人が通る場所ですが、高低差があるため階段があり通路幅も狭まるため、視認性が低く公園の一体感が薄くなってしまっています。



▶多目的広場～グラウンド



⑦第一期整備エリア

芹ヶ谷公園再整備の第一期整備エリアとして、芹ヶ谷公園グラウンドが2019年10月1日、芝生広場が2020年春にオープン予定です。今後、芹ヶ谷公園の他エリアとの回遊性や一体感の形成が必要となってきます。



⑧彫刻噴水・シーソー

芹ヶ谷公園のシンボルである彫刻噴水・シーソーは、特に夏場に多くの家族連れが訪れ水遊びを楽しむ人気スポットです。この場所をより楽しむためのしつらえが求められています。



⑨多目的広場

スポーツをしたり様々なイベントで利用され、春は桜の名所としても賑わいます。周囲からの視認性やアクセスを向上させることで、よりこの場のポテンシャルが発揮されると考えられます。



⑩多目的広場横の2つの谷

多目的広場に寄り添う2つの大きな谷は、現在特に利用されている場所ではありませんが、豊かな自然や独特の地形を楽しめる活動の場となるようなポテンシャルを持っています。



⑪せりがや冒険遊び場

せりがや冒険遊び場は子ども達の人気スポットです。周囲の動線計画の再構築や回遊性を高めることで、魅力をさらに高めていくことができると考えられます。

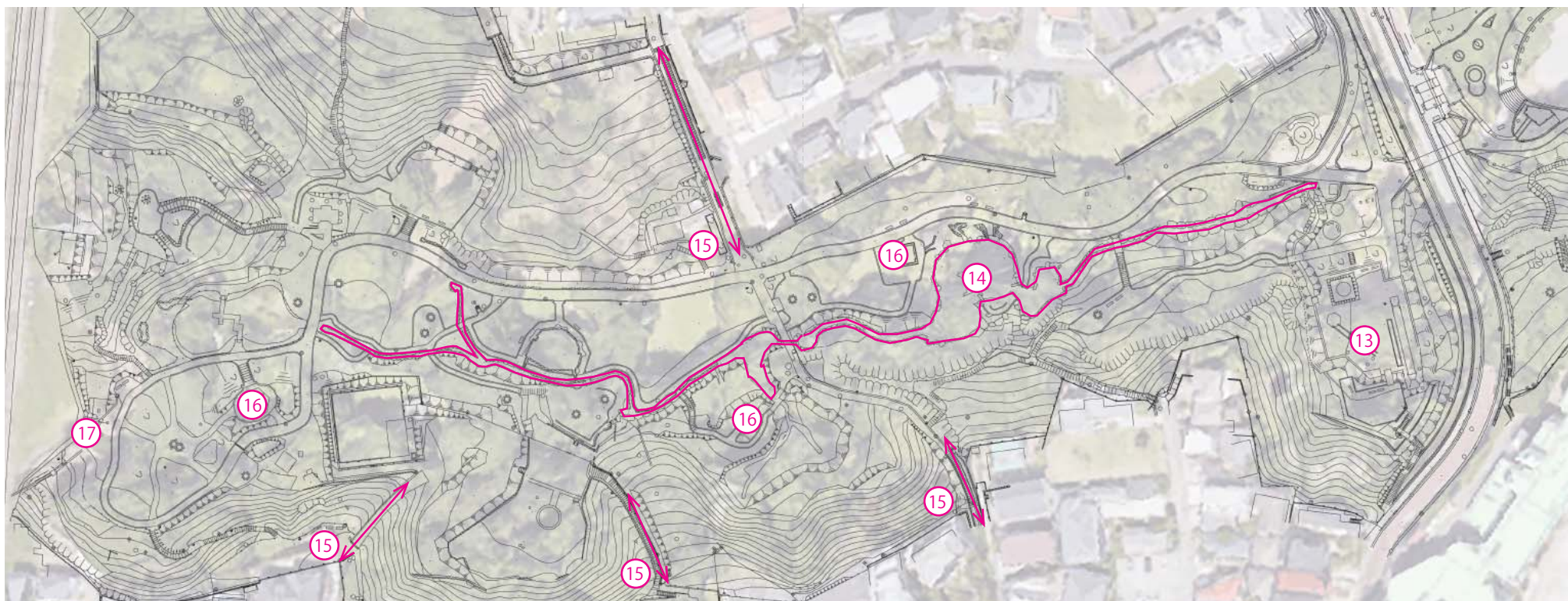


⑫アーチの泉周辺

芹ヶ谷公園内を道路をまたいでつなぐトンネルの出入り口であり、また道路から公園への重要な出入口の1つでもある場所です。しかし現状では道路から公園の内部の様子が見えづらく、入り口自体も分かりづらい状況です。



▶冒険広場～カキツバタ園



⑬冒険広場

様々な遊具のある冒険広場は、子ども達に人気の場所ですが、老朽化によって一部修繕が必要な遊具もあります。また、名称も冒険遊び場と混同しやすく認知されていないのが課題です。



⑭大池と湧き水周辺

湧き水はこのエリアの大きな魅力ですが、現在湧き水を眺めながら散歩ができるような歩道等の回遊動線の整備が十分ではありません。湧き水という資源を活かしたこの場のポテンシャルが発揮されるような整備が必要です。



⑮周辺の町からの出入口

特にこのエリアには複数の小さな入口があり、様々な場所からアプローチできる特徴があります。しかしいずれも場所がわかりづらく、サインや統一感のある設えもないため日常的に出入口を利用する人にしか認知されていないのが課題です。



⑯あずまや

特に湧き水の周囲を中心として園内にはいくつかの“あずまや”があるのも特徴となっています。しかしいずれも老朽化しており、屋根下空間の構成として利用人数や利用形態が限られてしまっており使い勝手が良いとはいえないのが現状です。



⑰小田急線 線路沿い

電車の鑑賞スポットとして子どもたちにも人気のスポットです。現状は大きな芹ヶ谷公園の看板がたち電車に見せる事に特化していますが、公園と電車との双方の見え方を考えることで場所のポテンシャルを活かすことができます。



芹ヶ谷公園の価値と資源について

芹ヶ谷公園には、ここならではの価値と資源が存在します。

この価値を最大化させるような空間づくりがこれから進める整備の重要なポイントになります。

地形

芹ヶ谷公園は恩田川へ注ぐ支流の浸食により形成された谷戸地形がそのまま残された公園です。谷底の空間は台地面より約20m低く、斜面を覆う緑によって公園の内部からは住宅、マンション、学校などの周辺建築物が見えない状態がつくられ、良好な状態で内部の景観を保っています。



谷戸地形が残る場所であること

- ・他の公園では見られない、芹ヶ谷公園ならではの地形の価値
- ・谷戸地形がつくる独特の囲われ感
- ・町田駅から徒歩圏内でありながら、喧騒を感じさせない空間

自然

多摩丘陵の谷戸地形を有する芹ヶ谷公園内では斜面地にコナラクヌギ群集、ムクノキミズキ群落からなる落葉広葉樹林やシラカシ群集の常緑樹林などが分布しています。水路や湧水では湿生の植物も見られ、多様な植生が広がり、豊かな環境の中に様々な鳥類や昆虫類をはじめとした動物も生息するなど、中心市街地周辺にしながら身近に自然を感じることができます。



谷がつくる緑や水の風景

- ・谷戸地形ならではの自然の風景
- ・斜面地に広がる緑のレイヤー
- ・園内各所で湧き出る湧水

憩いと賑わい

芹ヶ谷公園は豊かな自然を活かした公園として、散策などを中心に市民の憩いの場となっています。国際版画美術館をはじめとし、園内には芸術作品が展示され、アートを楽しめる場としても市民に親しまれています。

園内の多目的広場では年間を通じてイベントが開催され、市内外から多くの来園者が訪れるなど、賑わいのある空間が形成されています。



谷底が人の集まる場となっていること

- ・国際版画美術館や彫刻噴水、芸術作品など、谷底の空間に集まっている芸術要素
- ・既に多くの人々の活動の場として機能し、賑わいを生み出している広場空間
- ・散策などが楽しめる憩い空間

§ 2

芹ヶ谷公園"芸術の杜"のコンセプト

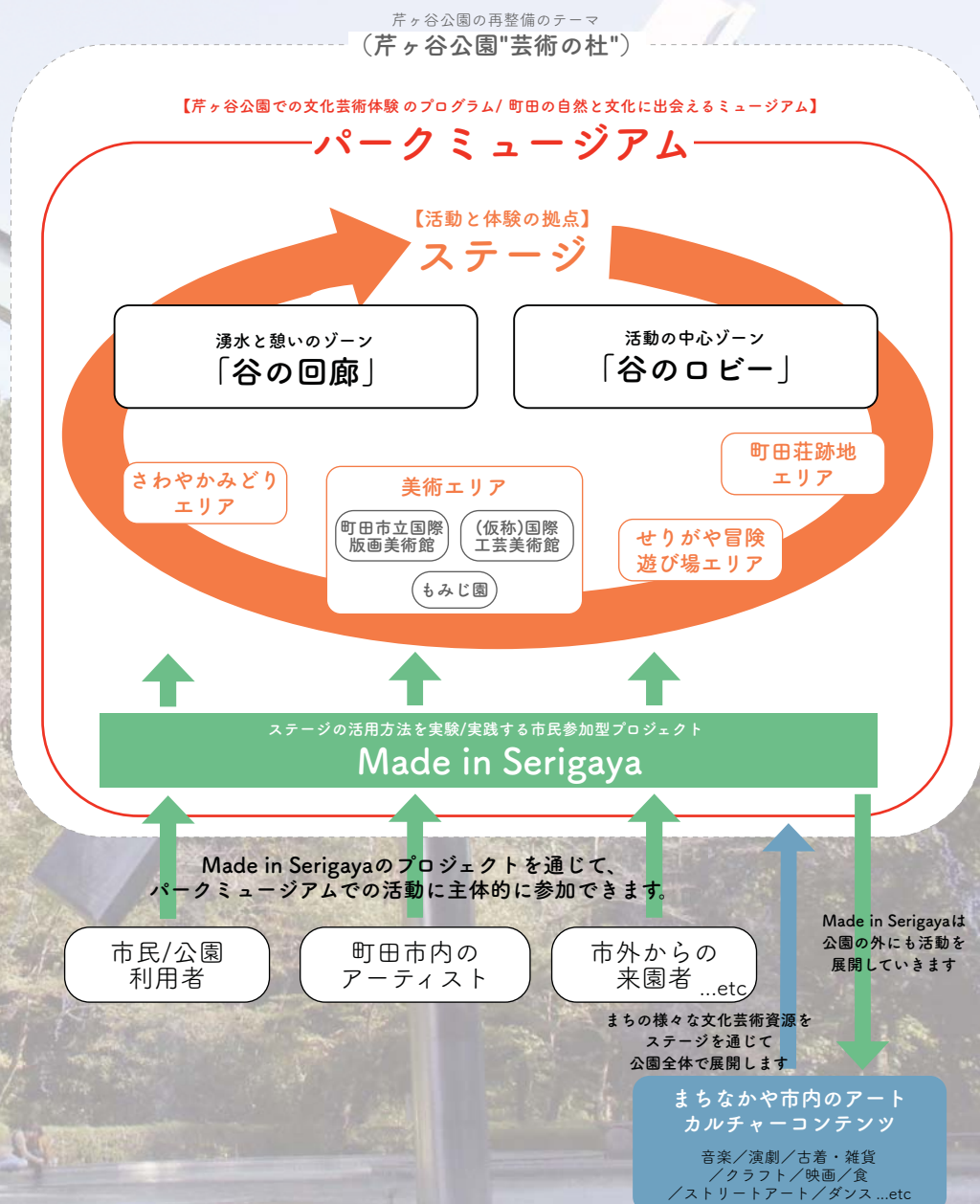
町田の自然と文化に出会える パークミュージアム

芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館を一体的に整備するに当たり、「芸術の杜」のコンセプトを「パークミュージアム」と名付けました。公園の価値と資源を活かし、まちなかの賑わいと連携させていくことで、町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する場となることを目指しています。

パークミュージアムは通常の博物館や美術館のように展示されているものを鑑賞するだけでなく、町田の多様な文化芸術の活動や公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園です。公園内の様々な場所に配置される「ステージ」は、それぞれの空間にあわせた特徴や機能を持っています。ステージで展開される活動は多様です。アーティストなどによる芸術活動はもちろん、遊びや憩い、スポーツや交流などもパークミュージアムにおける大切な文化的活動であり、公園に関わる誰もが主体的に関わることができます。

パークミュージアムはまさに多彩な町田の文化の集積であると同時に新しい文化が創造されていく場として誰にとってもいつでも新しい発見ができる場所です。

▶プロジェクト全体ダイアグラム



イメージビジュアル

芹ヶ谷公園全体をフィールドとして様々な活動が展開されていく芹ヶ谷公園の将来像のイメージです。
 芹ヶ谷公園の整備や公園を積極的に活用していくための取り組みを通じて、このような風景が
 芹ヶ谷公園やまちなかに生まれていくことを目指します。

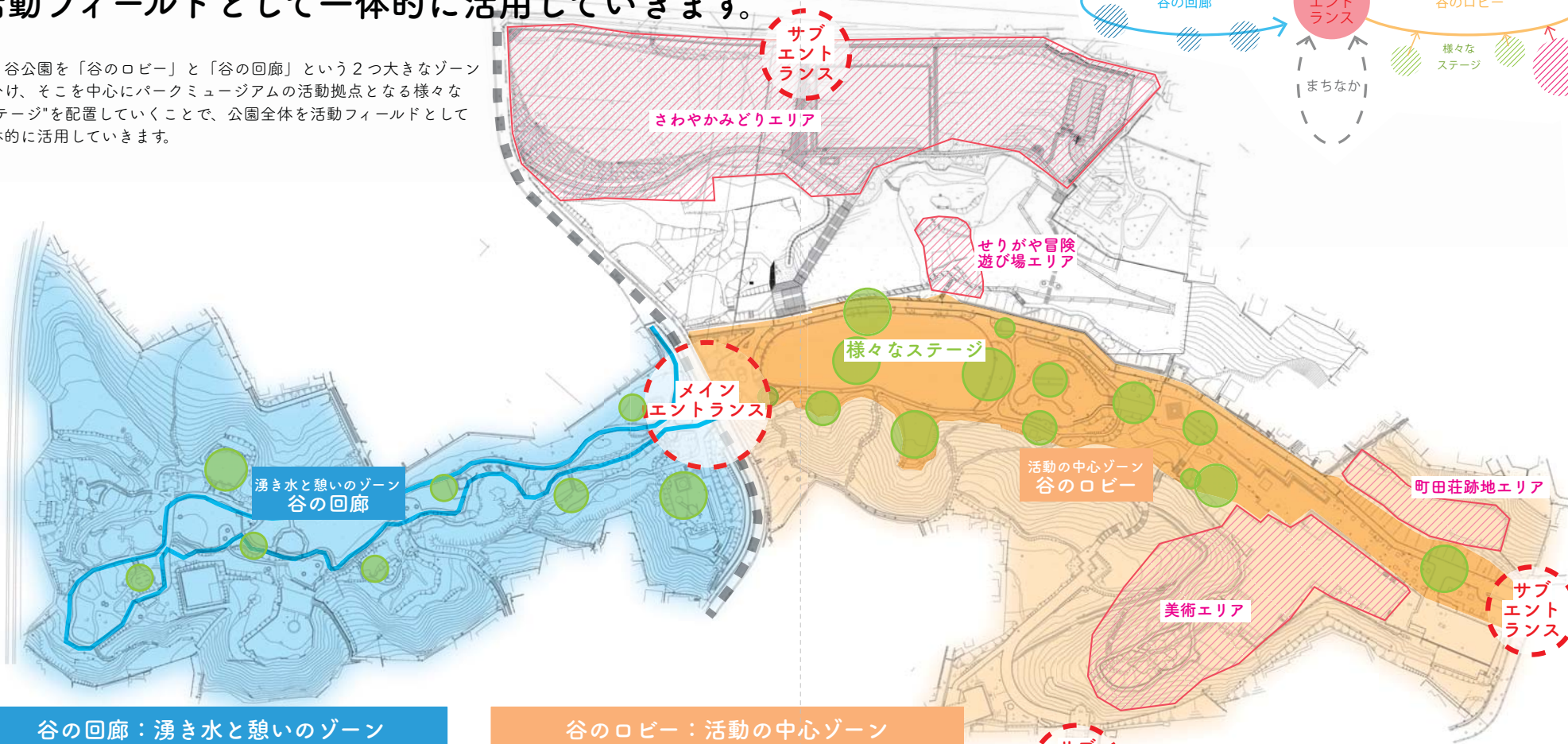
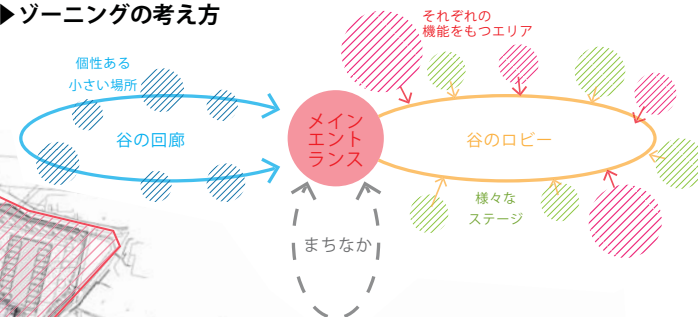


※イラストは、これまでに集まった様々なアイデアをもとに芹ヶ谷公園が活用されている様子のイメージです

「谷のロビー」と「谷の回廊」を中心に、 公園全体をパークミュージアムの 活動フィールドとして一体的に活用していきます。

芹ヶ谷公園を「谷のロビー」と「谷の回廊」という2つ大きなゾーンに分け、そこを中心にパークミュージアムの活動拠点となる様々な「ステージ」を配置していくことで、公園全体を活動フィールドとして一体的に活用していきます。

▶ゾーニングの考え方



谷の回廊：湧き水と憩いのゾーン

空間の特徴：「静」・「線的」
整備の方針：回遊性を生む線の引き直し、
明るい空間と見通しのある道

谷の回廊は個性ある小さい空間が園路沿いに展開している静かで落ち着いた空間です。メインエントランス部分を起点に現在の園路を中心にしながら水の流れとも呼応するような線の引き直しをおこなっていくことで、園内を気持ちよく回遊できるように整備していきます。

谷のロビー：活動の中心ゾーン

空間の特徴：「動」・「面的」
整備の方針：ロビー空間の面としての連続性、
様々なステージの導入

谷のロビーは様々なアクティビティが共存するにぎやかな動的な空間です。美術館や冒険遊び場などのエリアと、様々な公園のステージが谷のロビーに面している空間構成となります。谷のロビーの内部や周辺のエリアとの連続性が重要であり、ステージの整備とあわせてロビーを分断する段差やスロープや生け垣などを見直しながら面的な広がりを創出します。

ステージについて

▶ステージとは？

ステージとはパークミュージアムにおける文化芸術と自然の体験型プログラムの拠点となる場所です。公園内の様々な場所にそれぞれの空間にあわせた特徴や機能を持ったステージを配置します。ステージを拠点にあらゆる活動が展開されることで公園を訪れた人々は町田の多様な文化芸術や公園の豊かな自然を体験することができます。また、ステージで展開される活動は多岐にわたり、アーティストなどによる創造的な文化芸術活動はもちろん、遊びや憩い、スポーツや交流などもパークミュージアムにおける大切な文化的活動です。

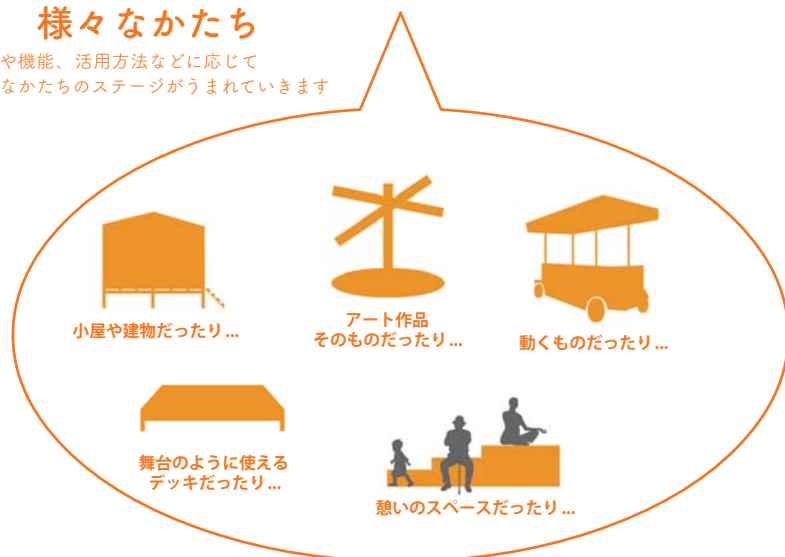
様々な活動

様々な文化芸術と自然の体験型の活動が展開されます



様々なかたち

場所や機能、活用方法などに応じて様々なかたちのステージが生まれていきます



▶ステージの種類

それぞれの機能やかたちなどを活かし、いろいろなものがステージになります。4つの種類に分類してみました。

①パークステージ PARK STAGE

公園の地形や景観、自然と一体となったオープンなステージです。公園内の各場所の特性を活かした、特徴あるステージとして活用しやすい工夫をしています。それと同時に、公園の日常にも馴染む設えを目指します。

【例えば...】

- ・デッキ
- ・縁側
- ・テーブル
- ・ベンチ
- ・あずまや/小屋

④

ステージツール STAGE TOOL

パークミュージアムの活動を通じて新たに生まれ、公園内を様々なステージとして活用できるように、動かしたり、持ち運びができるツールです。

【例えば...】

- ・モバイル屋台
- ・ヴィークル(乗物)
- ・ツールキット

...etc

②ケンチクステージ ARCHITECTURE STAGE

建物として設備や機能を持ったステージです。公園を積極的に活用していくための様々な仕掛けや設備を備えた空間でありながら、公園の利便性や快適性を担っていく拠点を目指します。

【例えば...】

- ・カフェ
- ・工房
- ・ショップ(物販店舗)
- ・トイレ
- ・倉庫

③エリアステージ AREA STAGE

一つの建築物や空間ではなく、エリアとして自立的/主体的に活動が展開される場所です。それとともに、パークミュージアムのプログラムと連動しながら、一体的に芹ヶ谷公園の魅力向上を目指します。

美術エリア

せりがや冒険遊び場エリア

町田荘跡地エリア

さわやかみどりエリア

▶市民参加型の公園活用実験プロジェクト

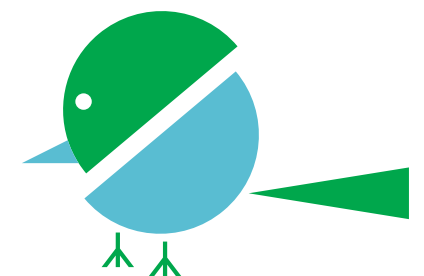
Made in Serigaya

メイドイン芹ヶ谷

パークミュージアムの実現にむけて、様々な"公園で〇〇したい"という声を集め、実際に実験的な取り組みをおこなっていく市民参加型プラットフォームが「Made in Serigaya(メイドイン芹ヶ谷)」です。ここから生まれたアイデアやプロジェクトは、実際にパークミュージアムの取り組みのなかに引き継がれていくことを目指します。

芹ヶ谷公園から市民が主体となって町田の文化や自然の魅力を発信し、さらに芹ヶ谷公園から新しい文化を生み出していこうという思いから「Made in Serigaya」と名付けました。

▶シンボルマーク



Made in Serigaya

メイドイン芹ヶ谷

芹ヶ谷公園から生まれていく新しい活動が世界に羽ばたいていく象徴、そして公園や自由を想起させるモチーフとして鳥をシンボルマークにしました。芹ヶ谷公園の特徴である豊かな木々の「緑」と湧き水の「水色」をテーマカラーとしています。また単純な形の組み合わせによるデザインは老若男女誰もが親しみやすく、かつ積み木のようなイメージで市民が自らの手で文化をつくりあげていくDIY精神を象徴しています。半円が斜めにずれて重なる図形はSerigayaのSの隠れ文字にもなっています。

▶Made in Serigayaの活動プロセス

アイデアを集めてみる

①公園活用のアイデア抽出

ex.スタートアップミーティング(※2019年8月24日実施)
ex.町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の未来を考える編(※2019年9月29日実施)
ex.町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の新たな使い方を考える編(※2019年11月4日実施)
ex.公園の未来を面白がる会(※2019年10月10日実施)
ex.アンケート、ex.ヒアリング
...その他

アイデアを試しに
実践してみる

②実証実験

ex.公園で絵画教室をやりたい →アートスクール実証実験
ex.公園でカフェをやりたい →仮設カフェ(屋台等)実証実験
ex.公園でヨガをやりたい →ヨガイベント実証実験...etc

拡げてみる
発信してみる
仲間を集めてみる

③公園活用イベント

ex.芹ヶ谷公園アートフェス(2020年実施予定)
※その他にも様々な展開をしていきます

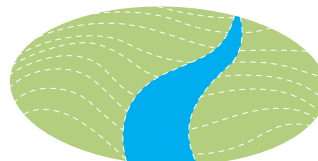
「谷と水と人」

第二期整備エリア全体において、2つのゾーンが一体性のある空間となるよう、「谷と水と人」という共通したキーワードを元に設計を行っていきます。

まず整備にあたっては、この場所が持つ谷の地形や、谷ならではの自然を活かすことを一番のポイントとします。まとまった樹林地は適切な管理を行い、良好な自然環境を維持していきます。また、既存の湧き水や彫刻噴水等も活かしながら、園内に水の流れを張り巡らせることで、谷の持つ自然環境を積極的に楽しめる空間とします。

園内を回遊しながらその自然環境に触れられるよう、水の流れに寄り添うように、谷のロビーや谷の回廊を整備していきます。

そして、水に寄り添うロビー／回廊にステージが付随することによって、ここの環境でしか体験できない多様な人々の活動が生まれます。



①公園内を水でつなぐ

園内は湧き水や噴水など、水に恵まれた環境です。その価値を最大化し、水を楽しみながら園内を周遊できるような整備を行います。



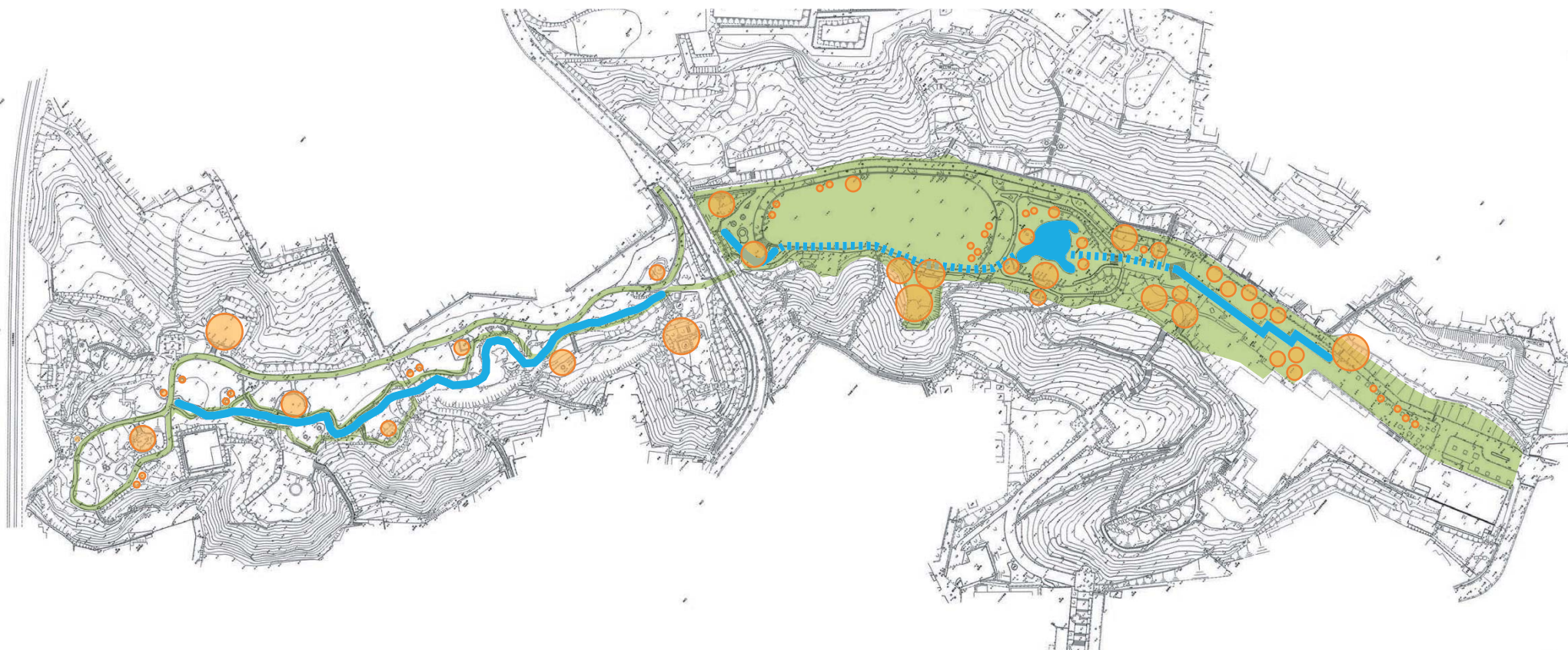
②水沿いにロビー／回廊を整備

園内に張り巡らされた水施設に寄り添うように、谷のロビー／谷の回廊を整備していきます。



③ロビー／回廊にそってステージを配置

谷のロビー／谷の回廊に沿って各種ステージを配置していきます。谷と水の環境と親しみながら、様々なアクティビティが楽しめます。



緑の整備方針

ランドスケープ整備のキーワードをベースに、
第二期整備における緑の整備方針については3つのエリアに分けて考えていきます。



谷の自然環境を大切にするエリア

①

まとまりのある樹林地となっているエリアは、芹ヶ谷公園が本来持つ自然環境を保全するエリアとします。良好な自然環境維持のために、樹木の剪定／伐採も含め、適切な管理を行っていきます。



人の居場所を大切にするエリア

②

谷底は人々の活動を支える場として、見通しの確保や居場所の整備のために、中低木を中心に樹木の伐採を行います。加えて、人々に緑陰や季節ごとに違った風景を提供できるような植栽を行います。



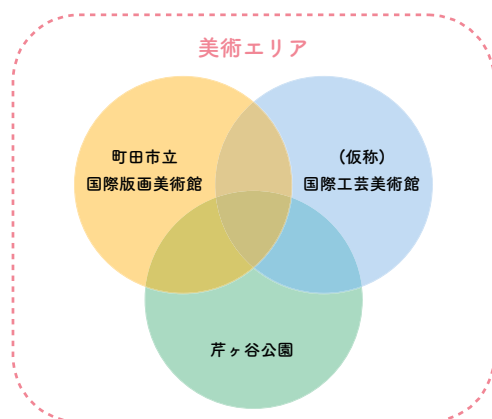
人と緑の関わりをつくるエリア

③

斜面地と谷底の境界部や街との接点である園路周りは、谷の自然を楽しみながらも、来園者が安心安全に回遊できる動線となるように、地面に光が差し込むように高木を剪定したり、視線を遮る中低木の伐採を一部行います。



新しく整備する(仮称)国際工芸美術館は、
町田市立国際版画美術館と共に公園と連続した「美術エリア」を形成、
パークミュージアムへと美術活動を展開するための拠点とします。



- ・町田市立国際版画美術館、(仮称)国際工芸美術館、公園の3つが一体となり、美術を介してコミュニティを育むための拠点を整備する。
- ・公園と連続した回遊性を確保し、公園を訪れた市民へ身近な美術体験を促す。
- ・機能や空間の連携・共有により、総合的な価値の向上や、機能の強化を図る。

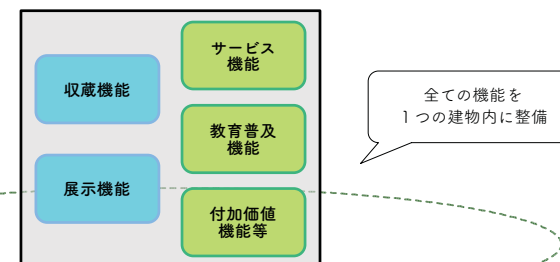
サービス機能や教育普及機能は公園の中に再配置し、
パークミュージアムの体験・活動ステージとなります。

これまでの考え方

新しく整備する建物により多様なニーズに対応しようとする、大きなハコモノ整備が必要となります。

〈イメージ〉

大きなボリュームの美術館

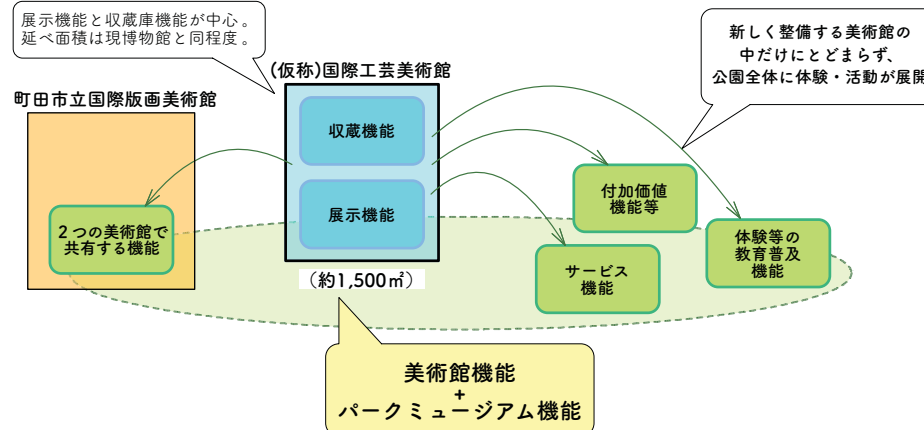


(仮称)
国際工芸美術館
整備の考え方

美術館のコアとなる機能(展示・収蔵等)を中心としたコンパクトな美術館を整備する一方で、カフェ等のサービス機能や体験工房等の教育普及機能については公園全体の施設や機能と一体的に捉え、効果的・効率的な機能配置を行います。

公園内に展開された機能はパークミュージアムの体験・活動ステージとなり、公園に求められる機能を充足するとともに、公園を訪れる多様な人々が気軽に文化芸術に触れられる場になります。

〈イメージ〉



§ 3
公園活用アイデア集

公園活用アイデア抽出のプロセス1：町田を面白がる会

▶概要

肩書や世代などを越えてフラットに公園の未来や活用のアイデアを語り合うために、「面白がる会」として芹ヶ谷公園の活用アイデアを抽出するイベントを開催しました。芹ヶ谷公園の町田市国際版画美術館の講堂を会場とし、2回に分けて芹ヶ谷公園の資源や課題の抽出からアイデアの抽出まで行い、町田市民の方々はもちろん市外在住で芹ヶ谷公園利用者の方まで、老若男女多世代の方々にご参加頂きました。

また1回目と2回目のあいだに番外編として茅場町のスペースを会場として新しい公園活用をテーマとした会を公園活用の有識者をゲストに招聘して開催しました。ここで更にアイデアの精度や視点・視野を広げたアイデアディスカッションを行い、2回目のアイデア抽出にフィードバックをしました。

町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の未来を考える編

テーマ：芹ヶ谷公園の資源や課題を抽出する

日時：9月29日(日) 14:00～16:30

場所：国際版画美術館 講堂

参加人数：36名



公園の未来を面白がる会

テーマ：未来の公園のあり方を考える

ゲスト：ULTRA PUBLIC PROJECTメンバー
／日建設計 伊藤雅人

日時：10月10日(木) 19:30～22:00

場所：CAFE SALVADOR BUSINESS SALON
(茅場町)

参加人数：38名



町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の新たな使い方を考える編

テーマ：芹ヶ谷公園の活用アイデアを抽出する

日時：11月4日(月) 14:00～16:30

場所：国際版画美術館 講堂

参加人数：33人



-----実施レポート-----

▶町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の未来を考える編

「面白がる会」というのは、「課題解決型アイデア出し」イベントです。

前半はファシリテーターによるレクチャーです。

「今回は、芹ヶ谷公園の現状の問題点や課題を見つけることが目的です。周りの街も魅力的になって行く中で、町田のこれからの魅力をどのようにつくっていくかが大きなテーマです。その中で芹ヶ谷公園はとても重要な場所です。」

後半は課題探しのフィールドワークとディスカッション。6つのチームに分かれた参加者の皆さんと市の職員や芹ヶ谷公園の再整備に関わるスタッフも一緒に芹ヶ谷公園の中へ出てディスカッションした内容を最後に発表しました。



今回は参加者が子どもから年配の方まで多世代に渡っていたのが大きな特徴でした。
最後に参加者に今日の感想を伺いました。
もうすぐ町田に住むことになるという、造園業をしている男性は、お子さんと一緒に参加しました。「職業柄、この公園がどうなるのか気になって参加しました。これからこの町に住む身として、同世代や若い世代の人とも、街に関わるこういう話ができることが良かったです。」



▶公園の未来を面白がる会

10月には番外編として、町田市民ではない人々にも知恵を借りようと場所を変えて東京の茅場町にて開催しました。建築関係者、公園の管理事業者、有識者、大手ディベロッパー、面白がる会ファンなど、都心ならではの顔ぶれが集まりました。



前半は、芹ヶ谷公園の新しい使い方アイデアを皆で考えるにあたって、ハード（建物）の開発ではなく人を中心にしたソフトウェアの力でまじづくりを提案している「ULTRA PUBLIC PROJECT」の1人である伊藤雅人さんに、事例となる取り組みについてお話ししていただきました。
「2018年10月にTokyo Midtown DESIGN TOUCHで実施され話題を呼んだ“動く公園”「PARK PACKは、従来の公園に設置されている、すべり台・ブランコ・砂場などの固定的な遊具とは全く違う発想です。東京ミッドタウンの芝生広場にもいくつか禁止事項が掲示されていますが、PARK PACKの期間だけは行動やアクティビティを推奨するようなサインを工夫して設置し、アクティビティの材料となるような最小限のツールをコンテナに用意しました」

こうした背景や活用事例を聞いた後、いよいよチームごとに芹ヶ谷公園の新しい使い方を考えるアイデア出しをし、各チームごとに発表をおこないました。今日は、建築業界や不動産業界、公園管理のプロも多く参加していましたが、皆さん現実的な課題をしっかり認識している立場でありながら、日頃の業界の常識を外して思い切りアイデア出しを楽しんでいただき、こうしたプロの方々もいつの間にか童心に帰っていく様子が印象的でした。

▶町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の新たな使い方を考える編

9月に抽出した課題を踏まえ10月の茅場町で出たアイデアもヒントにしながら芹ヶ谷公園の新たな使い方をみんなで考えました。前半はこれまでの前回9月の会で参加者のみなさんが実際に公園内を歩き回って感じた魅力・課題を踏まえ、ファシリテーターから、芹ヶ谷公園の未来にとって重要だと思われる「①自然②市民コミュニティ③アート④収益」の4つのキーワードが示されました。これらをふまえて今回は6つのチームで芹ヶ谷公園の新たな活用アイデアを考えていきました。



最後に参加者に今日の感想を伺いました。
町田の団地で生まれ育った高校3年生の男の子は「今日は楽しかった～！いつもは大人の人とこれだけ関わる機会がありませんので、今日はいろんな人の視点があって面白かったです。僕達の同世代にもいろんな視点はあられるけれどそれとはまた違う勉強になりました。自分の年齢の視点をみなさんに伝えられたのも良かったです」



全3回の面白がる会を通して、今回の芹ヶ谷公園の整備を、「私達の公園である」という自分事意識をもって私達市民が自ら描く「こうしたい！」を社会や地域でどんどん発信しつくりたい街をつくらせてくれるチャンスとして、立場を超えてみんなで考え続け関わり続けることが、より良い未来につながるのではないだろうか。

※面白がる会の取り組みについては、「未来町会議」のホームページでも発信しています。 <https://machida.life>

芹ヶ谷公園の魅力・資源

癒やされる水資源

- ・水を楽しむ環境が子供にもよい
- ・水路があるので、もっと活用すべきだね。
- ・湧き水があるのはいいところ！！
- ・水があると豊かな気分になれる
→水辺にベンチが欲しい

四季を感じる豊かな自然

- ・里山の豊かさ 自然の豊かさ 虫がとれる
- ・朝、暑い日も公園の中が涼しい
- ・四季が感じられる（町の中では感じられない）
- ・自然がすばらしい 知られていない

生き物がいっぱい

- ・野鳥がたくさんいるのがいい
- ・カブトムシの聖地 そして保護
- ・カブトムシやザリガニがいる
- ・ほたる、カブトムシ、ザリガニなど
自然マップがあるといい

その他

- ・ポケモンは町田生まれ。ポケモンGOとかDQWalkとかと
連動すれば、今の分かりづらさが逆に良い
- ・わかりづらい所が冒険感があっていい 下町感 穴場感
- ・版画美術館は世界でも珍しい 特性を生かしたほうが良い！！
- ・展覧会で小中学校とつながっているのも良い！
- ・冒険遊び場はこの公園の魅力！

芹ヶ谷公園の課題

入り口が分かりづらい

- ・駅からの道が分かりづらい
- ・入り口がたくさんあって
分かりづらい
- ・サインが見えない
- ・公園が見えない

町田駅から行きづらい

- ・駅から遠い
- ・交通不便 シャトルバスがない
- ・坂が多すぎる
- ・道が狭い
- ・駐輪場と駐車場が少ない

雨の時に利用しづらい

- ・雨に弱い
- ・雨宿りできない
- ・雨の日、
芹ヶ谷冒険遊び場に行けない
- ・雨の後、
道がドロドロになってしまう

印象が悪い/安全性がない

- ・木が多く、暗いイメージ
- ・怖いイメージがある

自然を楽しみきれない

- ・谷地形を活かしきれない
- ・広場の先がガケになっていて
行き止まりのように見える
- ・奥に進むと面白くなる
- ・水を活かしきれない
- ・19時以降に公園に入れない
- ・雑草を取ったりすると注意される
- ・水質がわからず、不安
- ・夏は暑い

アメニティが足りていない

- ・売店がない
- ・もっと小さな子どもが遊べる場所がない
- ・トイレの位置やデザインが良くない
- ・トイレが汚い

ファニチャーが少ない

- ・座れるところが少ない
- ・水辺でゆっくりできる所がない

その他

- ・冬に楽しめるコンテンツがない
- ・デートに行く気がしない
- ・版画美術館を活かしきれない
- ・公園のルールがわからない
- ・広場の真ん中が使われていない

活用アイデア

こんなイベントやりたい・参加したい！

- ・町田発の町田の店だけのフードフェスがあれば
- ・もっとゆっくりアイデア出ししたい（四季とか）
- ・いやしをテーマにしたヨガや音楽のフェス
- ・外国の子どもと地元の虫とり少年と交流ができれば良い
- ・ゴミ箱を分別を教えながら設置するとよい
- ・市民による企画展、個展があると良い

こんな場所がほしい！（ランドスケープ）

- ・エリア決めてドッグランとかあるとよい
- ・白い壁があると映画をみたり壁打ちしたり、裏には落書きもできる
- ・秘密基地（大人版）を作って童心に帰れる
- ・写真スポットがあるといい→日の出がきれいに見える
- ・段々畑があるとよい
- ・釣り堀があったらいい

こんなモノがあったら楽しい！

- ・ほたる、カブトムシ、ザリガニなどの生息場所がわかる自然マップがあるといい
- ・公園をキレイにするたびにポイントがたまる「公園サポーターポイント」があったら良い
- ・バルーンとかで使い方を伝えとよい
- ・芹ヶ谷公園の土で陶芸をできたらよい

こんな場所がほしい！（たてもの）

- ・お母さんたちが日替わりで個性を生かして出店できるようなシェアカフェができるといい！
- ・市民が作ったものを展示する美術館が欲しい
- ・泊まれる場所やツリーハウスあったら夜も楽しめる！
- ・寺子屋カフェ
- ・つまみ川みたいなパイオトイレをつくってほしい！！
- ・自分が自分らしくいられる美術館がほしい！子育てにもいい◎美術見なくてOK

これがあると便利！

- ・この公園を通して雇用を生めたらいい！町田のお母さんは町田ではたらかない！
- ・雨の日、夏の日差しのきつい日にも行きやすいように屋根があるといい
- ・夏は暑いので公園のベンチに屋根（ソーラーパネルとか）があるとよい！
- ・水をいかして防災とかにつかえるのでは？
- ・Wi-Fiとベンチで充電
- ・雨の後でもすぐ座れるような水はけのいいベンチがほしい

活用アイデア

こんな場所がほしい！（ランドスケープ）

- ・子どもピアガーデン
- ・子どもだけで遊べるエリアをつくる
- ・子供を安心して放牧
- ・農家の畑が直売所（生産→食べるとこまでぜんぶできる）
- ・パフォーマンスができる場所がほしい
- ・公園で働きたい（コワーキングパーク みんな会社行かなくてOK！！）
- ・誰でも使えるよりどころを作る
- ・木のぼりの森（ハイテクのぼり アナログのぼり）
- ・食べられる公園
- ・絵の具使い放題 自由にらくがきエリア（通路）
- ・歌える踊れるステージ
- ・「スモウ」パーク（誰でもすもう）
- ・農園
- ・ドッグラン
- ・みんなの菜園公園
- ・公園学校（壁はいらない ぶっとんだたてもの 囲まれていない開放感）
- ・カラフル砂場
- ・アリの巣公園

こんな場所がほしい！（たてもの）

- ・EV付VIPなツリーハウスホテル
- ・ツリーハウス団地
- ・フリーレンタルスペース
- ・公園お化け屋敷（肝だめし presented by 子どもたちとシニア）
- ・シニアの社交場（管理人があつめる）
- ・おじいさんおばあさんの超オシャレな社交場（主役は60才以上 ムーディーなかんじ）
- ・中央にシャワー、ビール
- ・土間、和 半分外、半分中
- ・泊まる 公園を庭にする
- ・聞きたいときに聴けるFMラジオ局（公園専用）
- ・建築的な落葉ため場 みんなが落葉を集めたくなる（かぶとむしおじいさんもかわりたい 考えたい）
- ・みんなで作るコミュニティカフェ

こんなヒトがいたら楽しい！

- ・雑草おじいさん（食べられるものを見極めてくれる）
- ・お寺みたいな公園（気軽さ お師匠さんがいる）
- ・子供の面倒をみってくれる人がいるといい
- ・ワクワクさんがいる公園
- ・住む（管理人＝公園コーディネーター 日替りでも◎）

こんなモノがあったら楽しい！

- ・雨の日限定でウォータースライダー
- ・ピアノ
- ・ライトアップ（夜の公園活用）
- ・巨大ソファでリラックス公園
- ・公園全体にやわらかいふかふかしたものを敷く
- ・サウナと水（サウナで温まったら、噴水へ直行！！）
- ・画材は使い放題 メーカー提供、月替り
- ・チョーク使い放題 色んな色で
- ・ティピ
- ・いろいろ（みんなでご飯を）
- ・キッチン（BBQ以外）
- ・太陽光キッチン（グリとグラのホットケーキ 作って食べよう）

こんなコトができたら楽しい！

- ・ドロにまみれたい！
- ・泥んこになって遊びたい！（大人も！！ ユニクロ+洗剤メーカー）
- ・ラフティングとかSUPの水遊び
- ・たき火
- ・ヌーディストパーク（日焼け 一面芝生）
- ・自由に絵をかける
- ・穴を掘りたい！人が埋まるくらい
- ・土、草とたわむれるwithシャワーとビール
- ・秘密基地を作り続ける
- ・グランピング（自然を楽しむ 夜のお楽しみ）
- ・雪を集める公園
- ・カブトムシのキャッチ&リリース
- ・サバイバル公園（陣取り合戦、サバゲー）
- ・泥んこスポーツ（鬼ごっこなど）
- ・本をよむ（公園の好きな所で！！ みんなで 静かに）

こんな制度がほしい！

- ・火が使える
- ・木のオーナーになる（俺の木だぞ！！）
- ・公園でお葬式（みんなで参加 安い！明るい！前向き！）
- ・今月の〇〇放題
- ・穴掘りOK公園（穴掘りグッズ）
- ・もぐら生活（会員制 特別感 どんどんほる どんどん広がる）
- ・ホームレス、認知症の人が来れるような（面白がれる）しくみを考えたい
- ・エリア分け テーマ別
- ・子供らしさを取り戻すしつけ
- ・有料ゾーンと無料ゾーン

こんなイベントやりたい・参加したい！

- ・羊、にわとりVRでハンティング動物をつかまえる
- ・虫めがねでもちを焼く（マシュマロも）
- ・車イスレース
- ・企業展示会
- ・みんなで協力してwifiの塔をつくる
- ・コカ・コーラ・パーク（大規模実験 メントス）
- ・とにかくデカイものをつくる！（みんなで協力して）
- ・展示場 アート展示会
- ・サーカス（パフォーマンス）
- ・キャンプファイヤー（全てを無にする とにかく燃やす おたきあげ）
- ・らくがき洗浄イベント メーカー提供
- ・でっかい穴をほる（井戸もあり！！土器を見つけるのもアリ！！）
- ・青空ゲーム大会
- ・たき出し選手権（インターナショナル炊き出し ワールドカップ）
- ・毎日運動会
- ・人間版画 シャワービール
- ・やきいもとかみんなで持ち寄り焼きパーティー
- ・キャンプのテントを並べる
- ・しつけ教室 犬、人間
- ・大将棋大会（自分がコマになる）
- ・家をつくる（災害時に備えて、サバイバル技術をみにつけよう！！）

これがあると便利！

- ・泥よごれ対応コインランドリー
- ・wifi（超強力なの）
- ・屋外トレーニングジム シャワー、ビール、プロテインは有料

その他

- ・公園でうまれたアートを展示する美術館
- ・もぐらさがし（そでて）
- ・メトロ公園
- ・お酒をつくる（芹ヶ谷ビール）
- ・社会の縮図が学べる（取り引き）
- ・ボール遊びだけOK公園
- ・屋上公園
- ・いたズラ企業（おとしあな）
- ・虫を食べる（食糧危機をすくおう！！ 雑草もあり）
- ・学校をしたい
- ・10FL PARK（ジップライン）
- ・開放区
- ・勝手に登らせてくれる超ハイテクな木
- ・池は主がいる感じがして怖い（ゆるキャラつくる？）
- ・子供は日常 大人は非日常

活用アイデア

こんな場所がほしい！（ランドスケープ）

- ・完成させる中で市民が参加できる「ゆとり」「間（ま）」を ・行政は舞台のみを提供 ・安価で市民が活動工夫できる「場」を用意 ・週末には（プロでなくても）講師の講習会
- ・大きな階段をインスタ映えスポットにしたら良い。（“安全”急いで昇り降りさせないように）
- ・「水」の魅力を活かす ☆美しい水へ ・非常用 ・子どもへの自然教育
- ・ホテルとメダカ→キャンプなど
- ・カフェの横にあずま屋←野外アートイベントによい！
- ・子どもの遊具を集めたゾーンを作る
- ・やんちゃ大人基地
- ・新しい大きな階段 子ども、お年寄、危ないのでは？→自然とゆっくり昇り降りするような“インスタ映え”のしかけ
- ・野外ステージ
- ・全天候対応の広場（雨だからこそ行ける場所）
- ・公園の中に色々な色彩を 歩きたくなるようなカラフルな場を作る
- ・美術館を長く愛して貰える一般の人の集いの場
- ・森と水があるので、農家とくと連携して「菜園」とかあると良い。（ワサビとか）その野菜を月に1回子どもと一緒に売り出したり、食べたり。
- ・公園全体を版画美術館に

こんな場所がほしい！（たてもの）

- ・せっかくの森は森として残す カフェとかは美術館エリアとか（エリアごとに考える）森の中には森に同化したようなものだけに（カメラ、ライティング）安心、安全 “隠し”
- ・オープンテラスのカフェ のぼりばた禁止 看板も禁止
- ・カフェ文化を 美しい いやしの
- ・芹ヶ谷でコーヒーのみたい。 やっぱカフェが欲しい。
- ・哲学カフェ 老若男女のコミュニティ 高校生・女性は面白い！！
- ・制限をしない場の提供 ・レンタルスペース→駅からの距離が気にならなくなるかも ・シェアキッチン、シェアカフェ
- ・彼女と、ママ友と、オシャレなテラス付レストラン&カフェ 安くてオシャレ！

こんな制度がほしい！

- ・芹ヶ谷公園お母さんDay （見守りシェアの活用 お母さんという強力な資源を芹ヶ谷公園で活用！！ 趣味や得意ことを生かして芹ヶ谷公園を盛り上げる。）
- ・見まもりシェア（みんなで子どもをみまもる。 街のおじいちゃんおばあさんがいっぱい！）
- ・自分たちでルールを決めてできる公園
- ・“規制をやめてみる。” ・空つかう。 ・昆虫育てうったり ・たき火 公園は規制がいっぱい

これがあると便利！

- ・Acces レンタサイクル・バス（企業間コラボ） うりは、みどり（財産）・レストラン、美術館にプラスで人を呼ぶ
- ・パウダールームとして使える
- ・交通の便 ・ミニバス ・周辺住民、大学等を視野に入れる

こんなモノがあったら楽しい！

- ・カフェに伝言ノート
- ・乾きやすいベンチ（お年寄りも）
- ・自由に使えるピアノ 500円で誰でも弾ける 投げ銭welcome！
- ・彼女と座れるベンチを作ろう はらっぱでオシャレに デートに最適！
- ・“お昼寝ハンモック” おひとり様でござる場所
- ・居心地のいいベンチ ハンモック貸してほしい
- ・大きなオブジェ（シーソー）は天気や時間によって、子どもがはしゃいでいる雰囲気が良いので（誰もいないときびしい）、座れたり、たまれる場になると良い。（移動できるイスとか）
- ・芹ヶ谷版“少年少女発明クラブ” ものづくりの基本
- ・SERIGAYA PARK ART&Café（うり） ログ入り のぼりNG はたNG ログ入りのおしゃれシンプル案内板 行きたくなる kids Gym ピクニック

こんなコトができたら楽しい！

- ・駅から近いところで、サバイバル体験 火をおこす 食料を採る テントをはる など 星を見る体験 （至れり尽くせりはNG!）
- ・本を持ちよって青空図書館（利用者が管理）
- ・水を使って流しソーメンをやってそこで採れたワサビをつけて食べる（チョコレートファウンテンも…女子の夢）
- ・公園発→駅へ 気球をつくって飛ばしたい
- ・バーベキューができたら… 花火も。
- ・泊まれるところ キャンプができると最高
- ・芹ヶ谷でお茶のみたい。 お茶を育てて、つんで、煎って、飲む。 芹ヶ谷公園オリジナル茶とお茶文化。
- ・焼いもしたい 炭火コーナー（持ち物持参）
- ・何も持たなくてもスポーツができる
- ・芹ヶ谷ソラ公園 ドローン タコあげ ブーメラン 花火
- ・マイラベルビールを作りたい
- ・お泊まり美術館 浮き世絵画の中を夜かいちゅーでんとーで歩く。
- ・「木」を使った体験講座 ・木の枝、おもちゃ ・炭づくり ・木工
- ・やりたいことができる公園
- ・犬を飼っている人も周辺に多いので（シバヒロには犬が入れないので）、場所を限定させて犬の場所をエリアとして作って、犬と一緒に遊べる。（大好きなコミュニティは自主管理もやる）（ドッグランに限らず、お互いの配慮で気持ちよく！
- ・様々なスポーツ体験 スポーツも文化芸術だ！
- ・学校連携による芹ヶ谷教室 芹ヶ谷のエトセトラを教材に！ ・指導者を育てる ・芹ヶ谷の自然かんさつとか、ゆるやかなつながり大事
- ・美術館ホールで踊ったり
- ・“面白い”大人公園 ・紙ヒコキ、大人が子供に教えられる場所になるといいな。

- ・芹ヶ谷コワーキング 「仕事ができる公園」 ・公園で働ける ・公園で働く と出える。 ・都心でなくても働ける。

こんなイベントやりたい・参加したい！

- ・星、月、自然を夜楽しむ公園体験 （大人が本気で遊ぶ）飯面をかぶってお泊り会
- ・1日イベント 自然+ART メヒシバでアート
- ・四季毎にマルシェなど（町田の野菜） 公園と町田の魅力を売り出す オシャレ
- ・仲見世のお店が芹ヶ谷に集合
- ・雨をむしろ楽しむイベント 長ぐつ美人コンテスト
- ・屋外ステージを創って軽音部やダンス部、路上ライブをしている方等を集めてフェス！！出店も集めてお祭り！！→将来性もあり利益も出る
- ・とりあえず芹ヶ谷へ いついっても“楽しい” 毎日なにかやっている。 芹ヶ谷公園 ワークショップ イベント アート
- ・芸術だけでない人を集める工夫（特に若い人） ・明るいイメージ
- ・オープンカフェ+本 ・フェスタ、ギャラリーなど楽しいイベント
- ・大型スクリーンでゼルビアのPV
- ・ステージを作ってライブとかお祭り ・公園内にステージを作り、市内の軽音部やこどもセンター、ダンス、路上で活動しているアーティスト等を募りライブ→かつ公園に出店することで公益性もある！！ ・若者集めたら友だちが来る→若者が来る！（看板とかも作ってもらえる（子どもセンター参照）） ・市民間にちょっとしたコミュニティが生まれる！！ ・町田らしさ◎
- ・町田市学校集めてスクールフェス ダンスもロックも 投げ銭で半分運営費半分出演料

その他

- ・迷路の魅力（入り口のわかりづらさ）を逆手に取る。町から公園までも楽しむ 色々なところからアプローチする。登山ルートのように〇〇ルートみたいに。
- ・公園に行くまでの空いている施設を使って通りを活性化！→公園に行く道を楽しく！
- ・災害（多い！）時のテント生活を想定し、公園でキャンプやたきだし体験を定期的にやるとよい。（テントも貸してくれると良い）
- ・自然の管理と整備 湧き水と緑の整備⇨資源として活用 ex防災用とか
- ・災害に強い美術館（未来へのこす芸術財産）（既存の施設も新しくできる施設も！）
- ・具体的に新しい使い方を考える上で… 今ある公園の課題（「日常」）（を解決するとりくみ）と新しいもの（使い方）は分けて考える（「非日常」「イベント」）
- ・「芸術の社」としてのコンセプトを明確に ・エリア分けなど
- ・文学館を移転、跡地を売却→集中させて盛り上げる
- ・アートをきっかけにインバウンド insta Youチューブ
- ・やっちゃいけないことがわかる公園に
- ・子どもたちにやってはいけないことを教えられる、そして“できる”公園に
- ・明るいイメージ作り・看板など ・敷地内巡回するバス ・行き止まり、暗いイメージを解消する工夫 ・オープンカフェ、フェスタ
- ・「暗い」を解消 ・照明⇨都市公園として整備 ex電車から見てもモシャモシャとした中に看板だけ
- ・国と市 税金 広島市民球場 たるばきん（美術館、公園愛する人）（online クラウドファンディング） 企業から スタバ 民間
- ・財源確保のために市民や民間企業から募る クラウドファンディング
- ・町田にある小さい（中小）企業が集まって活動できる公園 “スタバとか大企業じゃない。”
- ・使ってない施設で多目的美術館をつくる
- ・芹ヶ谷公園を版画と工芸の聖地に！ まちだからではの「わかりやすいディーブな版画・工芸」
- ・Deep町田×版画工芸

公園活用アイデア抽出のプロセス2：市内の学校・学生との連携

【小川高校「総合的な探究の時間」との連携】

▶概要

町田市における個々の課題について知るとともに、俯瞰的に課題を見る視点について考える機会を得ることで、生徒自身が日常生活を振り返り、地域社会に対して意識を向けるきっかけを作ると同時に、地域社会に積極的に関与し貢献できる社会人の育成につなげる機会として小川高校1年生が実施している「総合的な探究の時間」の課題のひとつとして芹ヶ谷公園「芸術の杜」プロジェクトを取り上げました。

日時：11/14（木）15：10～16：00

場所：東京都立小川高等学校体育館

人数：1学年生徒 約318名



《イベント》

- ・シナヒロなどでやっているようなご飯を食べられるようなお祭りなどを開催したらいいと思う
- ・地元の高校の軽音や、バンドでライブのようなイベントをやってほしい
- ・真夏の夜にちよっとしたビデオをとる
- ・ナイトミュージアム

《環境・設備》

- ・学生が放課後に集えるような場所
- ・アスレチックがほしい、ゆうぐがほしい
- ・わき水があるので稲作をしてみたいと思う
- ・サッカーでできるくらいの広場が欲しい
- ・バスケットゴールが欲しい。
- ・BBQ
- ・学習スペースが欲しい。(なるべく遅くまで使える)
- ・SASUKEのコースを作りたい！！
- ・動物とふれあえる
- ・公園の一部をアスファルトなどにコートを作る
- ・ランニングとかができる場所を作してほしい
- ・犬が入ってはいけない公園があるため、入って良い所を増やしたりドッグランなどの場所を増やして欲しい

《建物・スポット》

- ・フードコートなど飲食可能なスペース。それにともないゴミ箱の設置

【桜美林大学「デザイン・プロジェクト」との連携】

▶概要

桜美林大学芸術文化学群ビジュアル・アーツ専攻の「デザイン・プロジェクト」授業では芹ヶ谷公園を対象にした「(仮)“せせらぎの光の杜プロジェクト”」を進めています。

それに伴いプロジェクトチームの生徒たちへヒアリング形式のワークショップを実施し、芹ヶ谷公園をフィールドワークをした時の印象や、どのようなイベントやモノがあると自分たちが来なくなる公園になるかなど、大学生の目線から意見をいただきました。

日時：10/23（水）13：10～14：40

場所：桜美林大学町田キャンパス

人数：授業受講者 19名



▶成果一覧

《イベント》

- ・ユーチューバーを呼んでフェスを開く。
- ・御朱印帳のようなスタンプラリー要素をつくってみる。
- ・お店と連携したシステム（芹ヶ谷公園でとった写真をお店に持っていくと割引が受けられるなど）
- ・バルーンアートづくりワークショップ
- ・ハーバリウム作りワークショップ
- ・アーティストのイベントステージを作る。
- ・子供が参加できる季節ごとのイベント
- ・ダンスや演劇・屋外映画フェス
- ・親子向けの観客参加型のイベント
- ・水系を活用したイベント
- ・フラッシュモブ

《環境・設備》

- ・木をライトアップしてみる。
- ・木や水の落ち着いた雰囲気を利用した活用（キャンプなど）
- ・BBQができるような水道などの設備があるとうい。
- ・ハンモックでゆっくりできる場所を作る。
- ・街灯不足をイルミネーションで解消
- ・イベントに使える音響、照明設備

《アート》

- ・ライブペイントイベント
- ・色とりどりのミストによる空間演出
- ・公園の遊具にアートの要素を取り入れる。
- ・夜にも行けて、火花ができる公園
- ・屋外でアートを見るための鑑賞スペース

《建物・スポット》

- ・インスタ映えするフォトスポット(かわいいモチーフのメニューメン)
- ・町田のお肉、野菜、アイスが食べられる場所
- ・芹ヶ谷公園案内ガイドさん
- ・ログハウスやツリーハウス
- ・タピオカやハンドメイドのものの販売店を作る。
- ・アーティストのイベントステージを作る。

【MSPによる“芹ヶ谷公園活用アイデア抽出ワークショップ”】

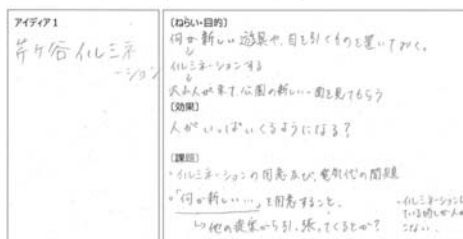
▶概要

町田市在住・在勤・在学の若者を中心に、未来の町田をより良いまちにするために活動する団体「MSP～町田創造プロジェクト～」の活動の一環として、芹ヶ谷公園活用アイデアの抽出ワークショップを実施しました。

公園の新しい魅力や使い方をできるだけ自分事にひきつながらアイデアを出してもらいました。

日時：10月10日(木)、10月24日(木)

▶アイデアシートフォーマット



▶成果一覧

《飲食・売店》

- ・飲食店の設置
- ・売店(ゴムで飛ばすひこうきとか売っておく)
- ・自動販売機

《建物・設備》

- ・子どもたちが遊べる室内集会所(ゲーム画面が見やすい)
- ・屋根の大きな座れるところ
- ・座れる椅子もしくは芝生
- ・たくさんベンチ
- ・屋根付きのベンチと机(弁当たべたい)
- ・綺麗なトイレが欲しい
- ・トイレ(きれい)
- ・電波がどこでも安定してつながるように
- ・ゴミ箱
- ・ゴミばこ
- ・きれいな冷水器
- ・こまめなゴミ箱
- ・貸し出せる防音ホールが欲しい
- ・バンドとかダンスができるステージが欲しい
- ・床発電とか音発電とかどうでしょう？

- ・こんな感じのホールがほしい
- ・謎モニュメントを増やしたい

《イベント》

- ・貸切って遠走中とかやりたい！！
- ・キャンプ体験イベント
- ・テントを設置してたき火で肉を焼いてお泊りするイベント
- ・クリスマスシーズンイルミネーション
- ・ホログラムスポット(Instagramによる拡散)
- ・今ある水を出す機械を改良し、水のスクリーンを作り出し、そこに映像をうつす(シンガポールのスベトラ参考)



《遊具・スポーツ》

- ・巨大な遊具
- ・坂をソリ用にしたいなあ
- ・ゴーカート
- ・ボール使用可の広場
- ・ドローンレース会場を作る。自然を活かしたコースの作成
- ・アスレチック
- ・中高生～大人向けのアスレチック
- ・アスレチックのようなつながっている大きい遊具
- ・巨大な壁を建てる。その近くにスプレーの貸し出し場を置き、壁に自由に落書きできるスポット
- ・バスケットコートやアスレチックなど運動場が欲しい
- ・子どもセンターの外バージョン
- ・せりぼうをもっと活性化して欲しい。子ども委員会みたいなものを中心になると良い。
- ・せりぼうの年齢層を広げて欲しい。中高生も参加出来たら良い。今は小学生ばかりなので。
- ・野球とかサッカーとかボール使いたい
- ・時間借りるコート(バスケットかテニスとか)
- ・貸出のボール・遊び道具
- ・サイクリングロード
- ・秘密基地作りた

《その他》

- ・清掃員
- ・不審者がいない公園になっていると良い
- ・親子だけ、運動をしたい人だけではなく、誰もが気軽に寄れて遊べる場所になったら良い。(アクセス大事！！)
- ・花自然
- ・看板をオシャレに！！
- ・動物と触れ合いたい

公園活用アイデア抽出のプロセス3：アンケート

▶概要

ワークショップやヒアリング以外にも、芹ヶ谷公園で開催されるイベントや集会などとあわせてアンケート形式での意見抽出を行いました。定量的な公園利用者の属性調査とあわせて、公園活用アイデアについてはいくつかの分類からの複数回答による選択式と自由回答によって抽出をおこなっています。また、芹ヶ谷公園の活用にあたっての課題点についての調査も同じく複数回答による選択式と自由回答によって抽出しました。

▶アンケートフォーマット

2019.09.06(園内用)

芹ヶ谷公園の活用に関するアンケート

質問文をお読みいただき、当てはまる選択肢の番号を○で囲んでください。

Q1 現在お住まいの地域

1.町田市内（※詳細分類の聞き方要相談） 2.その他（ ）

Q2 回答者の年齢・性別

1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代以上
[女・男]

Q3 同伴者の年齢・性別

同伴者1：年齢（ 歳） 性別 [女・男] 関係（ ）
同伴者2：年齢（ 歳） 性別 [女・男] 関係（ ）
同伴者3：年齢（ 歳） 性別 [女・男] 関係（ ）
同伴者4：年齢（ 歳） 性別 [女・男] 関係（ ）

Q3 今日の芹ヶ谷公園への来園方法はなんですか？

1.電車(町田駅から) 2.バス 3.車 4.自転車 5.徒歩

Q4 今日の芹ヶ谷公園への来園目的はなんですか？(複数回答可)

1.遊び/ピクニック等 2.散歩 3.スポーツ 4.せりがや冒険遊び場
5.国際版画美術館 6.通り抜け途中 7.園内のイベント 8.その他（ ）

Q5 芹ヶ谷公園にはどれくらいの頻度で来ますか？

1.毎日 2.週に1回程度 3.月に1回程度 4.半年に1回程度 5.年に1回 6.初めて

Q6 芹ヶ谷公園でどのような活動や体験をしてみたいですか？(複数回答可)

1.アート・創作活動/体験 2.飲食活動/体験 3.音楽活動/体験 4.スポーツ活動/体験
5.アウトドア・キャンプ活動/体験 6.自然体験/学習 7.セミナー/レクチャー 8.購買/ショッピング体験
9.フィットネス・健康づくり活動 10.ワークスペース(勉強場・仕事場) 11.菜園・農園体験

その他、具体的な公園活用アイデアなどありましたらご自由にお書きください

Q7 上記のような公園活用にあたっての課題点がありますか？(最大3つまで回答下さい)

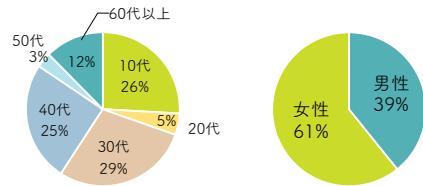
1.防犯面の課題 2.安全面の課題(維持管理状況や雰囲気等) 3.アメニティ面の課題(飲食/購買施設の不足等)
4.情報発信の課題 5.参加の仕組みの課題(参加窓口がわからないなど) 6.スペースの課題(活動場所がない等)

その他ございましたらご自由にお書きください

Q8 その他ご意見やアイデアをご自由にお書きください

アンケートのデータまとめ

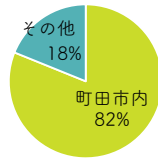
回答者の年代・性別



回答数：283

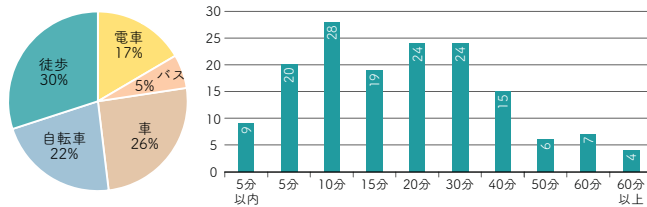
回答数：160

お住まいの地域は？



回答数：251

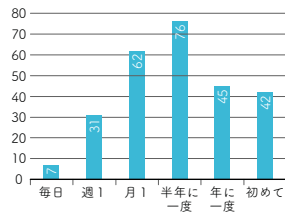
芹ヶ谷公園への来園方法



回答数：277

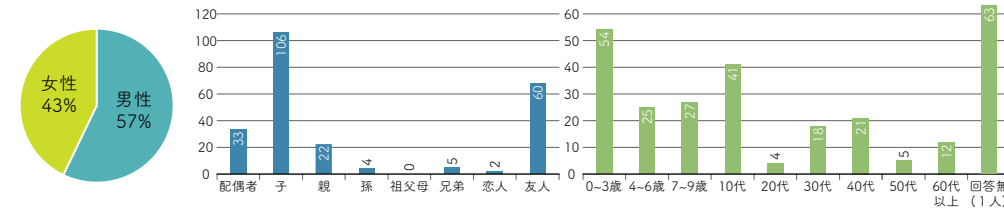
回答数：156

芹ヶ谷公園への来園頻度は？



回答数：263

誰と一緒に来園しますか？

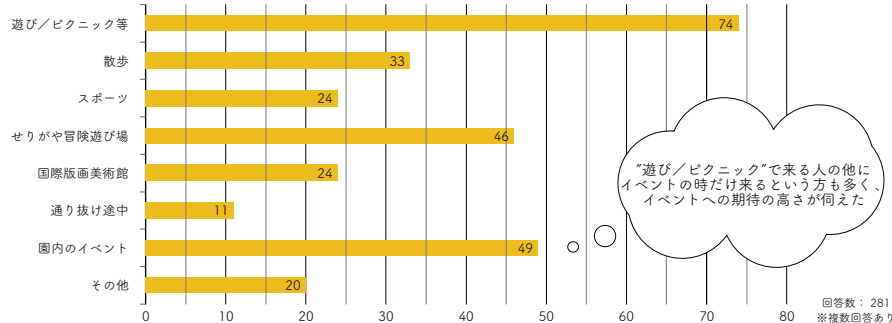


回答数：221

回答数：232

回答数：270

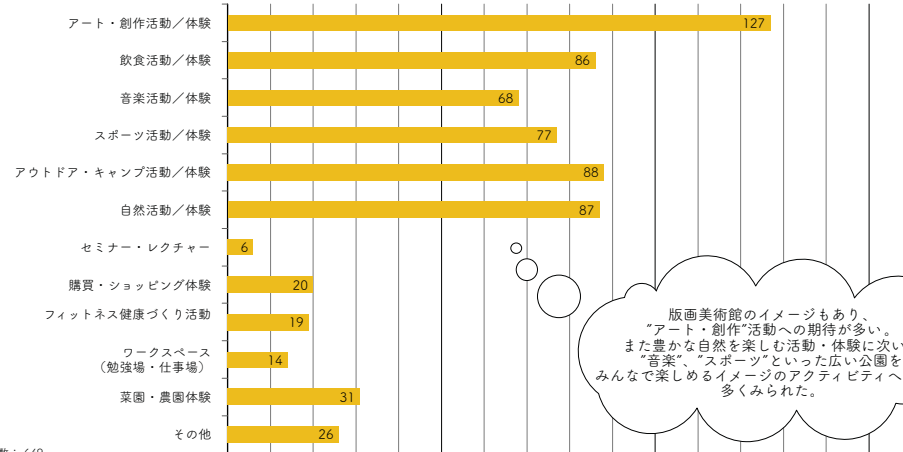
芹ヶ谷公園への来園目的は？



回答数：281

※複数回答あり

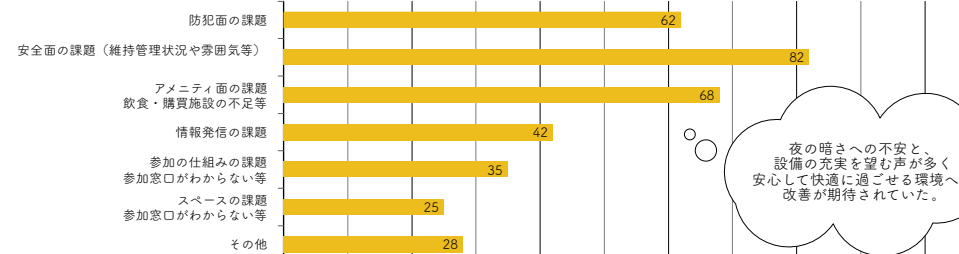
芹ヶ谷公園でやってみたい活動・体験は？



回答数：649
※複数回答あり

版画美術館のイメージもあり、
“アート・創作”活動への期待が多い。
また豊かな自然を楽しむ活動・体験に次いで
“音楽”、“スポーツ”といった広い公園を
みんなで楽しめるイメージのアクティビティへの票も
多くみられた。

芹ヶ谷公園の気になる点は？



回答数：342
※複数回答あり

夜の暗さへの不安と、
設備の充実を望む声が多く
安心して快適に過ごせる環境への
改善が期待されていた。

その他の意見・ご要望

[芹ヶ谷公園でやってみたい活動・体験]について

・アクセサリ屋などで出店してみたい。／健康によい運動遊具があるとよい。／紙ヒコーキをつくって飛ばしたい。／高級な飲食ができるレストランなどが欲しい。／水をもっとうまく活用した活動。／フリーマーケットや古本市／お絵かきなど子供と一緒に遊べるイベント／青空映画館／ミュージカルイベント／音楽やスポーツなどをパブリックビューイングで見るといい。／ホテルを見るイベントを復活して欲しい。／他の公園にないBMXなどのストリートスポーツができる場所／雨天でも利用できるように屋根のある場所がほしい。／子育て支援の広場／移動図書館／コミュニティカフェ／森林管理のノウハウを学べる講座 など

[芹ヶ谷公園の気になる点]について

・アクセスの案内サインをわかりやすくしてほしい。／バスなどの交通インフラを整備してほしい。／坂道が急で友人を誘いづらい／芹ヶ谷公園から文化や情報をもっと発信してほしい。／夜は照明が少ない。／公園近くにもっと駐車場がほしい。／自然を維持管理して散歩できるようにしてほしい。／エスカレーターがほしい。／イベントをもっと多くしてほしい／コンビニがあるといい。／オートバイが通って危ない時がある。／みんなにイベントがあることが知られていない。／座る場所をもっと増やして欲しい。／ゴミ箱がほしい。／トイレの管理／虫が多い。／遊具が少ない。／公園の入り口がわからない。 など

公園活用アイデア集 1

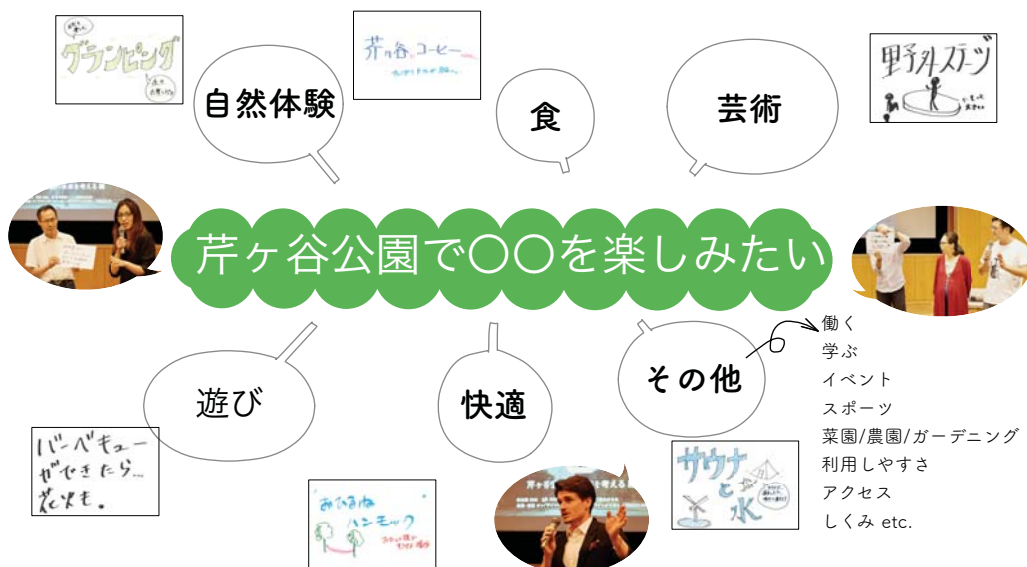
▶概要

近年、公園等の公共空間の活用を取り巻く環境は変化しており、都市公園法の改正による規制緩和など、都市公園を一層柔軟に使いこなす視点が重視されてきています。

芹ヶ谷公園の再整備においても、これまでのルールや固定観念にとらわれず、素直な気持ちでだれもが本当に楽しめる公園の使い方を考えてみるのが重要だと考えます。

この公園活用アイデア集は面白い会等のワークショップ等で出たアイデアをまとめたものです。

まずは、多様な人の柔軟な発想による「こういうことがしたい」「こういう空間が欲しい」というアイデアをより多くの人と共有することで、多くの人に愛され、本当に使われる公園の将来像を探っていきます。



▶アイデア集の見方



No. 01 Idea 自然をもっと積極的に楽しみたい	Category 自然体験
	Source ・ツリーハウス団地 ・木のぼりの森 ・木のオーナーになる ・でっかい穴をほる（井戸もあり!!土器を見つけるのもアリ!!） ・駅から近いところで、サバイバル体験、火をおこす、食料を探る、テントをはるなど ・水遊び

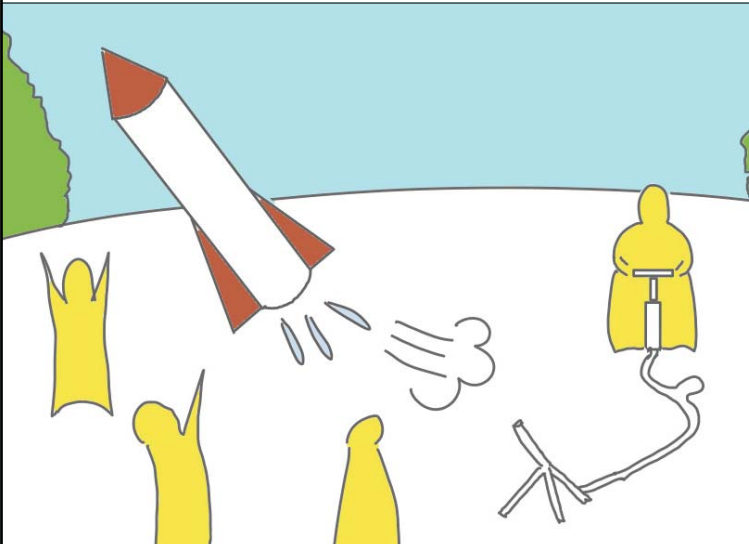
No. 02 Idea アウトドアを楽しみたい	Category 自然体験
	Source ・グランピング（自然を楽しむ、夜のお楽しみ） ・テント（ティピ） ・ライトアップ（夜の公園活用） ・泊まれるところ、キャンプができることと最高 ・たき火 ・キャンプファイヤー ・バーベキューができたら花火も ・星、月、自然を夜楽しむ公園体験（大人が本気で遊ぶ） ・雑草おじさん（食べられるものを見極めてくれる）

No. 03 Idea 動物や生き物とふれあいたい	Category 自然体験
Source ・ほたる、カブトムシ、ザリガニなどの生息場所がわかる自然マップがあるといい ・カブトムシのキャッチ＆リリース ・釣り堀があったらいい ・エリア決めてドッグランとかあるとよい ・犬を飼っている人も周辺に多いので、場所を限定させて犬の場所をエリアとして作って、犬と一緒に遊べる。(ドッグランに限らず、お互いの配慮で気持ちよく!)	

No. 05 Idea 創作活動したい	Category 芸術
Source ・芹ヶ谷公園の土で陶芸をできたらよい ・自由に絵をかける ・秘密基地（大人版）を作って童心に帰れる ・公園発→駅へ 気球をつくって飛ばしたい ・「木」を使った体験講座 木の枝、おもちゃ、炭づくり、木工 ・家をつくる（災害時に備えて、サバイバル技術を身につけよう!!）	

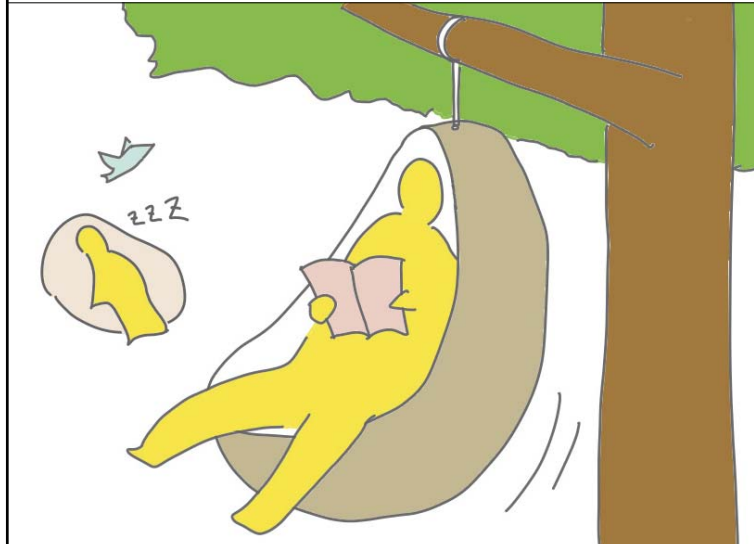
No. 04 Idea ライブやパフォーマンスをしたい	Category 芸術
Source ・パフォーマンスができる場所がほしい ・自由に使えるピアノ、500円で誰でも弾ける、投げ銭welcome! ・美術館ホールで踊ったり ・野外ステージ ・歌える踊れるステージ	

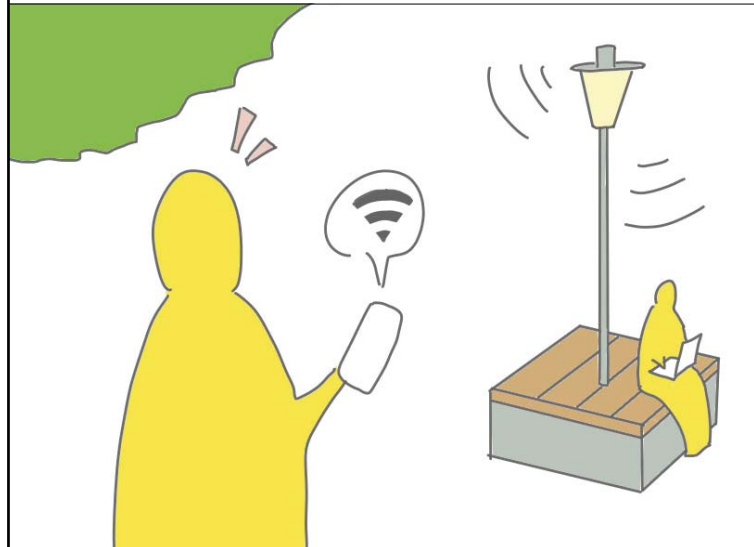
No. 06 Idea 展示や発表をしたい	Category 芸術
Source ・公園でうまれたアートを展示する美術館 ・市民が作ったものを展示する美術館が欲しい ・自分が自分らしくいられる美術館がほしい！子育てにもいい◎、美術見なくてOK ・市民による企画展、個展があると良い ・展示場 アート展示会	

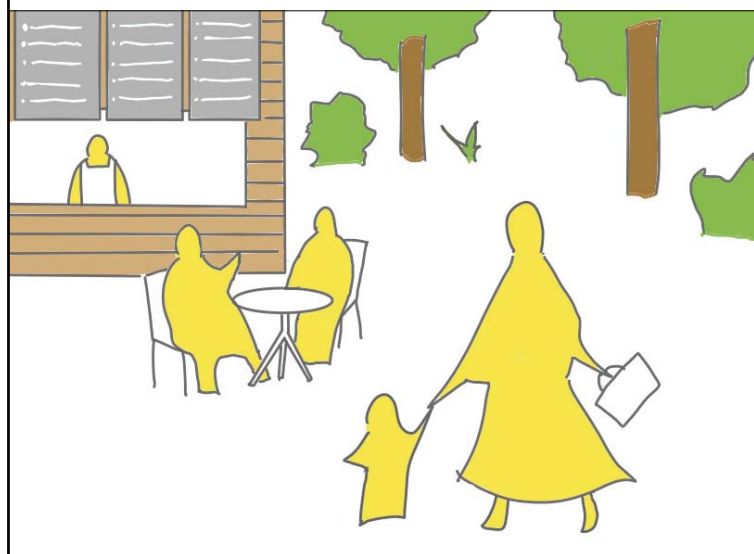
No. 07 Idea ここでしかできない特別な遊びをしたい	Category 遊び
	Source ・公園お化け屋敷（肝だめし presented by 子どもたちとシニア） ・白い壁があると映画をみたり壁打ちしたり、裏には落書きもできる ・芹ヶ谷ソラ公園、ドローン、タコあげ、ブーメラン、花火 ・大規模実験（コーラパーク）

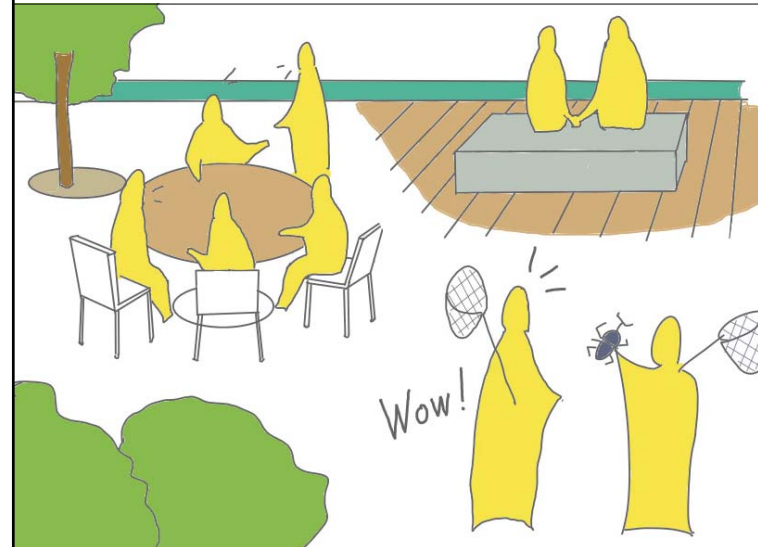
No. 9 Idea 食を楽しみたい	Category 食
	Source ・みんなで作るコミュニティカフェ ・寺子屋カフェ ・芹ヶ谷でコーヒーのみたいやっぱりカフェが欲しい ・四季毎にマルシェなど ・芹ヶ谷でお茶のみたいお茶を育てて、つんで煎って、飲む。芹ヶ谷公園オリジナル茶とお茶文化。 ・太陽光キッチン（グリとグラのホットケーキ作って食べよう） ・虫めがねでもちを焼く（マシュマロも） ・キッチン（BBQ以外） ・いろいろ（みんなでご飯を） ・お酒をつくる（芹ヶ谷ビール）

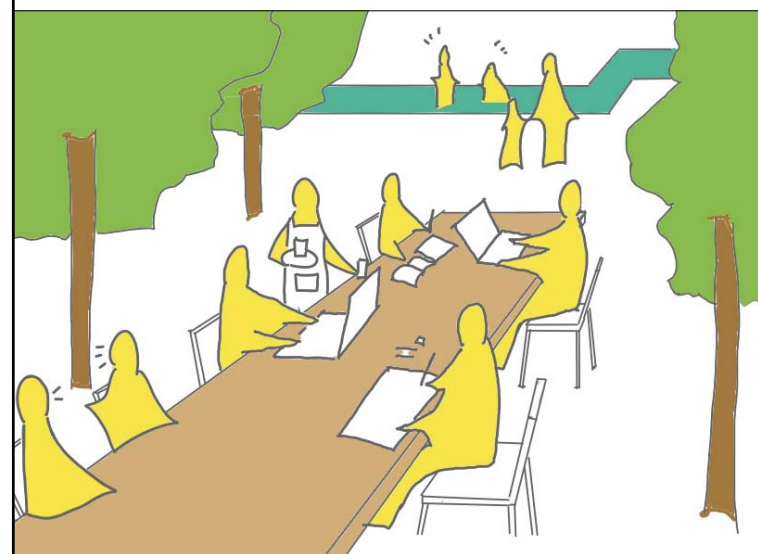
No. 08 Idea 雨や雪でも楽しみたい	Category 遊び
	Source ・雪を集める公園 ・雨の日限定でウォータースライダー ・雨の後でもすぐ座れるような水はけのいいベンチがほしい ・雨の日、夏の日差しของきつい日にも行きやすいように屋根があるといい ・全天候対応の広場（雨だからこそ行ける場所） ・泥んこになって遊びたい（大人も！！） ・ドロにまみれたい！

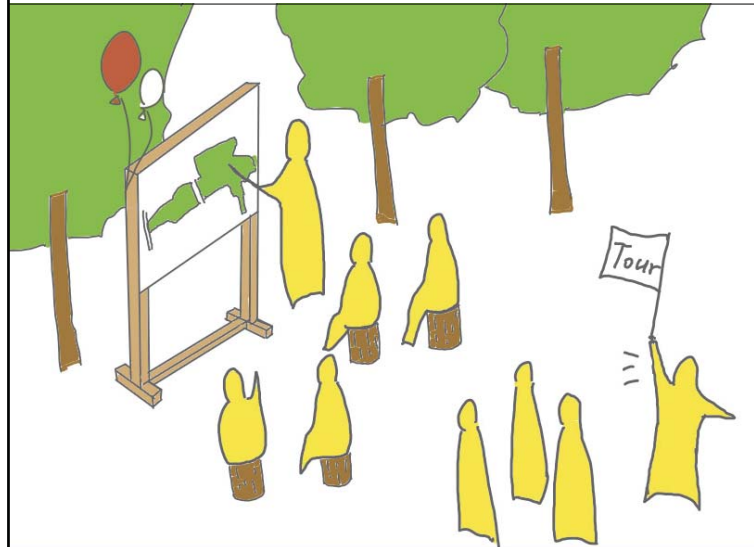
No. 10 Idea 気持ちよくくつろぎたい	Category 快適
	Source ・巨大ソファでリラックス公園 ・公園全体にやわらかいふかふかしたものを敷く ・本をよむ（公園の好きな所で！！ みんなで静かに） ・夏は暑いので公園のベンチに屋根（ソーラーパネルとか）があるとよい！ ・“お昼寝ハンモック”おひとり様ですごせる場所

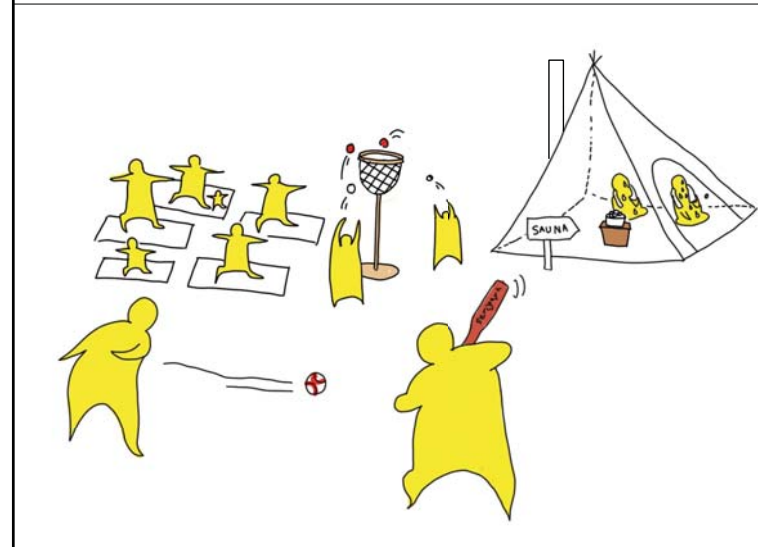
No. 11 Idea 電源やインフラを充実して 利便性や防災性を高めたい	Category 快適
	Source ・Wi-Fiとベンチで充電 ・聞きたいときに聴けるFMラジオ局（公園専用） ・自然の管理と整備 湧き水と緑の整備＝資源として活用 ex防災用とか ・災害（多い！）時のテント生活を想定し、公園でキャンプやたきだし体験を定期的にやるとよい。（テントも貸してくれると良い）

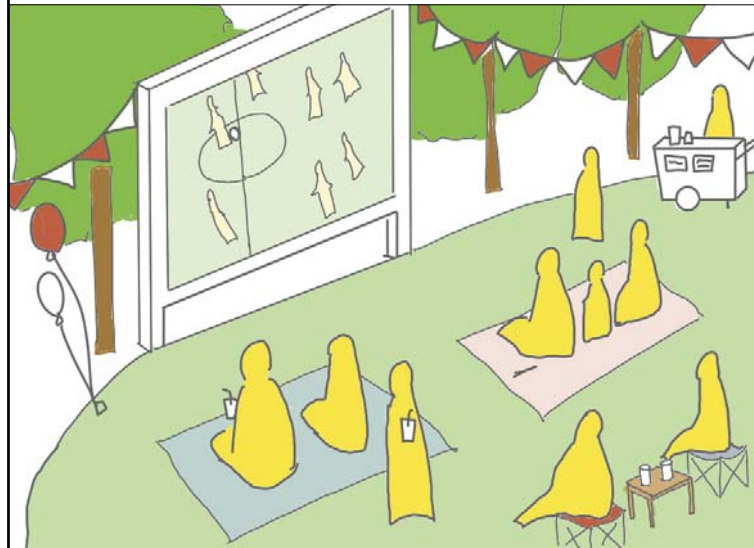
No. 12 Idea もっと気軽に安心して利用したい	Category 快適
	Source ・子どもだけで遊べるエリアをつくる ・誰でも使えるよりどころを作る ・明るいイメージ作り、看板など、敷地内巡回するバス ・芹ヶ谷公園お母さんDay ・見まもりシェア（みんなで子どもをみまもる。街のおじいちゃんおばあさんがいっぱい！） ・パウダールームとして使える

No. 13 Idea 色々な人と交流したい	Category 交流
	Source ・外国の子とも地元の子と少年と交流ができれば良い ・おじいさんおばあさんの超オシャレな社交場 ・哲学カフェ、老若男女のコミュニティ、高校生・女性面白い！！ ・彼女と座れるベンチを作ろう、はらっぱでオシャレに、デートに最適！ ・彼女と、ママ友と、オシャレなテラス付レストラン&カフェ 安くてもオシャレ！ ・フリーレンタルスペース ・レンタルスペース→駅からの距離が気にならなくなるかも、シェアキッチン、シェアカフェ

No. 14 Idea 気持ちよく仕事をしたい	Category 働く
	Source ・お母さんたちが日替わりで個性を生かして出店できるようなシェアカフェができるといい！ ・公園で働きたい（コワーキングパーク みんな会社行かなくてOK！！） ・この公園を通して雇用を生めたらいい！町田のお母さんは町田ではたきたい！ ・芹ヶ谷コワーキング「仕事ができる公園」、公園で働くとお会える都心にでなくても働ける

No. 15 Idea 新しい学びを得たい	Category 学ぶ
	Source ・公園学校（壁はいらない、囲まれていない開放感） ・子どもたちにやってはいけないことを教えられる、そして“できる”公園に ・本を持ちよって青空図書館（利用者が管理） ・学校連携による芹ヶ谷教室、芹ヶ谷のエトセトラを教材に！、指導者を育てる、ゆるやかなつながり大事 ・“面白い”大人公園、大人が子供に教えられる場所になるといい

No. 17 Idea スポーツなどで体を動かしたい、健康になりたい	Category スポーツ／健康
	Source ・泥んこスポーツ（鬼ごっこなど） ・サバイバル公園（陣取り合戦、サバゲー） ・毎日運動会 ・サウナと水（サウナで温まったら、噴水へ直行！！） ・何も持たなくてもスポーツができる ・様々なスポーツ体験 スポーツも文化芸術！ ・ヨガ

No. 16 Idea 色々なイベントがしたい	Category イベント
	Source ・町田発の町田の店だけのフードフェスがあれば ・いやしをテーマにしたヨガや音楽のフェス ・仲見世のお店が芹ヶ谷に集合 ・とりあえず芹ヶ谷へ、いついっても“楽しい”、毎日なにかやっている。ワークショップ、イベント ・大型スクリーンでゼルビアのPV ・町田市学校集めてスクールフェス、ダンスもロックも、投げ銭で ・お泊まり美術館（浮き世絵絵画の中を、夜懐中電灯で歩く）

No. 18 Idea 植物を育てたい	Category 菜園／農園／ガーデニング
	Source ・農家の畑が直売所（生産→食べるとこまでぜんぶできる） ・みんなの菜園公園 ・段々畑があるとよい ・農園 ・森と水があるので、農家とかと連携して「菜園」とかあると良い（ワサビとか）、その野菜を月に1回子どもと一緒に売り出したり食べたり ・花、自然

No. 19 Idea 公園に行くまでを楽しみたい	Category 移動／まち
Source ・迷路の魅力（入り口のわかりづらさ）を逆手に取る、町から公園までも楽しむ、色々なところからアプローチする、登山ルートのように〇〇ルートみたいに ・公園に行くまでの空いている施設を使って通りを活性化！→公園に行く道を楽しく！ ・交通の便、ミニバス、周辺住民、大学等を視野に入れる ・レンタサイクル・バス（企業間コラボ）	

No. 20 Idea 公園を楽しむ仕組みをみんなで考えたい	Category 仕組みづくり
Source ・公園をキレイにするためにポイントがたまる「公園サポーターポイント」があったら良い ・制限をしない場の提供 ・財源確保のために市民や民間企業から募る、クラウドファンディング ・自分たちでルールを決めてできる公園	

§ 4
持続可能な運営体制の検討と
実現にむけたロードマップ

官民連携/民間活力導入の背景

▶今、全国の自治体で検討されている公園の賑わい拠点化について

- ・都市公園のあり方を検討し、民間活力を導入することを国は推進しています。
(国土交通省先進的官民連携支援事業における公園事業：H30：4件、R1：7件)
- ・社会情勢の変化等に対応するため、公園緑地行政は新たなステージへ移行すべきという趣旨から平成29年度に都市公園法が改正されました。
- ・法改正によって新設されたPark-PFI制度では、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定することができるほか規制緩和がなされています。

これまでのステージ

経済成長、人口増加等を背景とし、
緑とオープンスペースの量の整備を急ぐステージ

新たなステージ

社会の成熟化、市民の価値観の多様化、都市インフラの一定の整備等を背景とし、緑とオープンスペースを持つ多機能性を、

- ・都市のため(持続可能で魅力ある高質都市の形成 など)
- ・地域のため(個性と活力ある都市づくりの実現 など)
- ・市民のため(市民のクオリティ・オブ・ライフの向上など)

に**最大限引き出す**ことを重視するステージに移行すべき。

出典：国土交通省
「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会最終報告書」

▶新たなステージで重視すべき視点

観点1：ストック効果をより高める

- ・都市公園は全国的に見ると一定程度整備されてきた
- ・今あるものをどう活かすか、という視点を重視すべき
- ・都市公園を活性化する、また、必要に応じて再編するという考え方が重要

→公園管理者も資産運用を考える時代へ

観点2：民間との連携を加速する

- ・公共の視点だけでモノをつくらない、発想しない
- ・民間のビジネスチャンスの拡大と都市公園の魅力向上を両立させる工夫を

→民がつくる、民に任せる公園があってもいい

観点3：都市公園を一層柔軟に使いこなす

- ・画一的な都市公園の整備はNG
- ・画一的な都市公園の管理はNG
- ・公園の個性を引き出す工夫で、公園はもっと地域に必要とされる財産になる

→公園のポテンシャルを柔軟な発想で引き出す

出典：国土交通省「都市公園法改正のポイント」

▶官民連携事業を行うことによる制度的メリットについて

事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用されることとなります。

【特例1】設置管理許可期間の特例（10年→20年）

設置管理許可の期間の上限は10年のままだが、認定期間（上限20年間）内は更新を保証。

【特例2】建蔽率の特例（2%→12%）

公募対象公園施設については、10%の建蔽率上乘せ。

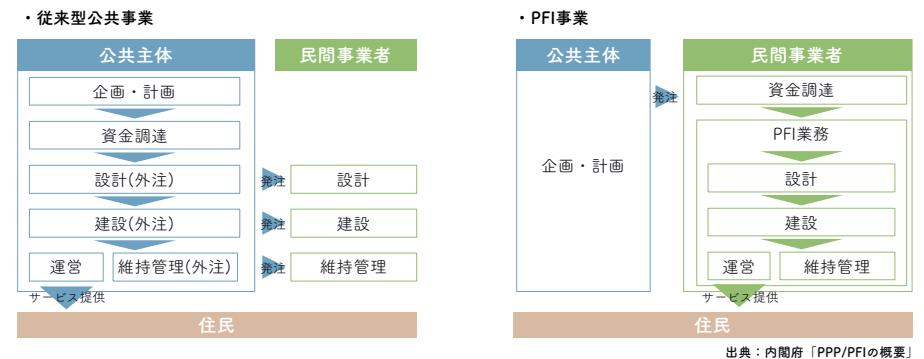
【特例3】占用物件の特例

認定公募設置等計画に基づく場合に限り、自転車駐車場、看板、広告等を「利便増進施設」（占用物件）として設置可能。

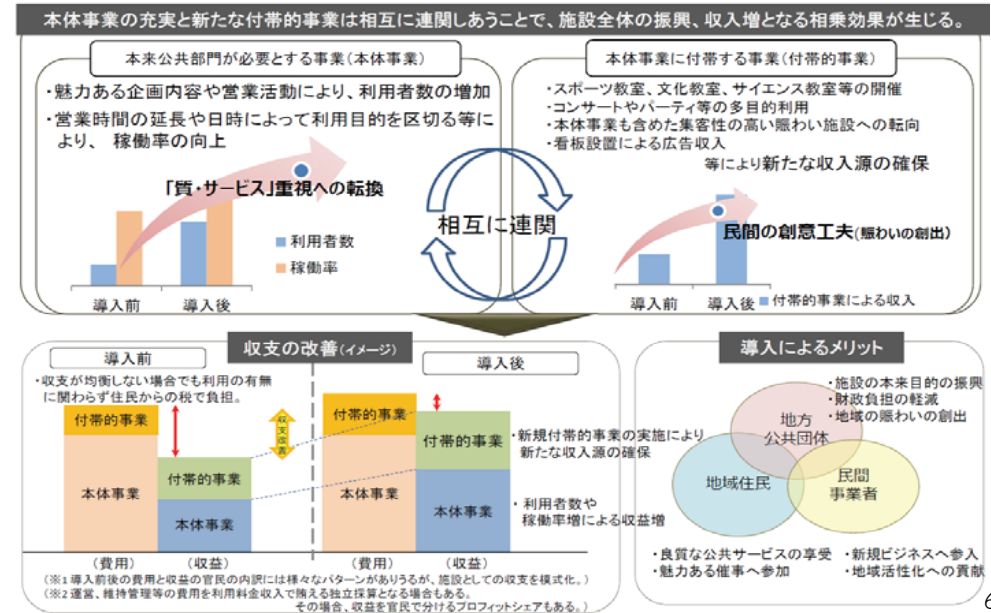
▶官民連携/民間活力の導入による強み

- ・民間の資金、能力やノウハウを活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも、効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる可能性があります。
→民間の創意工夫（ブランディング、イベント企画、広報戦略等）がこれまでの公共サービスに加わり、賑わいのある公園に。
- ・事業コストの削減、民間事業者による、より質の高い公共サービスの提供が期待されるほか、官民の適切な役割分担に基づく新たな官民パートナーシップが形成されることなどが期待されます。
→一括発注や民間提案により財政負担の抑制に繋がったり、運営者の意図が反映された自由度の高い施設設計に。

▶これまでの公共事業と官民連携事業(例：PFI事業)の発注方法の違い



▶官民連携事業(例：公共施設等運営事業)によって期待される効果



Park-PFI制度について

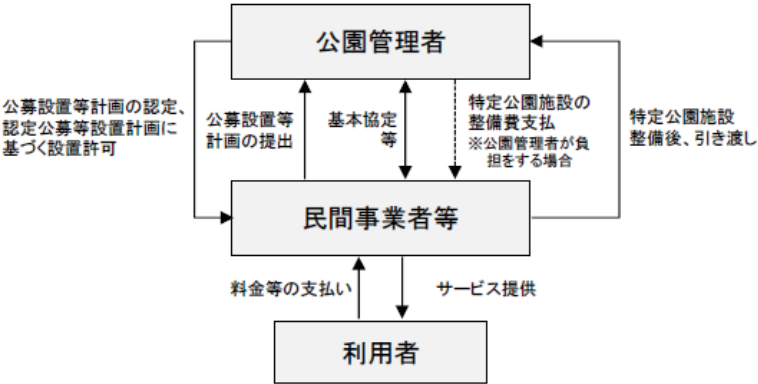
▶Park-PFIについて

- ・Park-PFIは、飲食店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行うものを、公募により選定する制度です。（以下の図「Park-PFIのイメージ」参照）。
- ・都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る整備・管理手法です。
- ・民間事業者は、公募設置等計画及び基本協定等に基づき、公募対象公園施設を及び特定公園施設を一体で整備します。
- ・公園管理者は、公募設置等指針において特定公園施設の整備費を負担する旨を記載した場合にあっては、公募設置等計画において民間事業者から提案された負担額を特定公園施設の引渡しを受ける対価として民間事業者に支払います。

▶Park-PFIのイメージ



▶Park-PFIの事業スキームイメージ



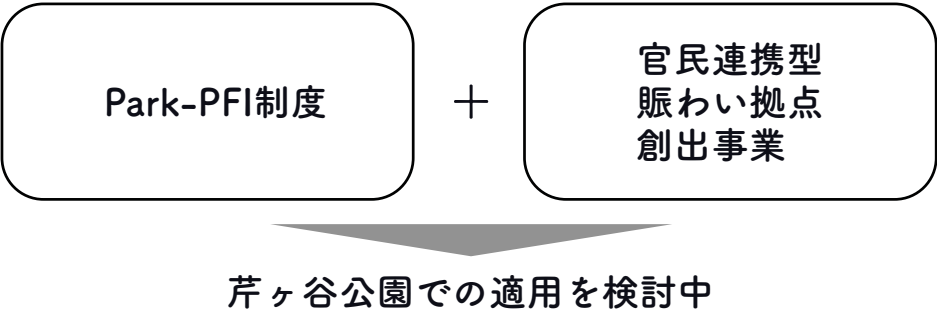
出典：「都市公園の質の向上に向けたPark-PFI活用ガイドライン」

▶官民連携型賑わい拠点創出事業について

民間資金の活用による効率的な公園施設の整備を推進するため、Park-PFIにより民間事業者が行う園路、広場等の特定公園施設の整備に要する費用のうち地方公共団体が負担する金額の1/2を社会資本整備総合交付金により国が支援します。

交付対象	地方公共団体
面積要件	面積0.25ha以上の都市公園
国費対象基礎額	民間事業者が行う特定公園施設の整備に対して 地方公共団体が負担する額の1/2
事業費の要件	地方公共団体の費用負担が特定公園施設の設備に要する 費用の積算率に対して1割以上削減されること

▶まとめ：芹ヶ谷公園における官民連携事業の検討について



留意点 1

事業化までの各段階において何度も事業者と「対話」を行い、民間事業者が受入可能な事業スキームに落とし込んでいくことが重要

留意点 2

手法有りきで検討を進めるのではなく、事業目的を実現するためにどのようなスキームが相応しいのか検討していくことが重要

67

